

水泳

水

73

日本水上競技聯盟機關雜誌

水 泳

昭和十五年・第七十三號

目 次

南米遠征報告……………齊藤巍洋…(2)

南米派遣選手動靜報告……………	{ <small>在亞爾然丁特命全權公使</small> 内山岩太郎 <small>在「ケープタウン」領事</small> 吉田賢吉 <small>在伯特命全權大使</small> 桑島主計 }	…(8)
-----------------	--	--------

第十四回早慶對抗水上競技……………横尾清吾…(15)

日、立、明三大學對抗水上競技……………白山源三郎…(17)

壯烈殊勳の拔手……………陸軍戸山學校 森少佐…(22)

學童の見たインターカレヂ……………第八峽田小學校生徒…(20)

國民皆泳所見 (靜浦小學校の卷)……………	{ 齋藤 亨 一杉和一 中村哲夫 }	…(23)
-----------------------	--------------------------------	---------

速泳に就て……………白山源三郎…(33)

懸賞問題の周邊……………横尾清吾…(33)

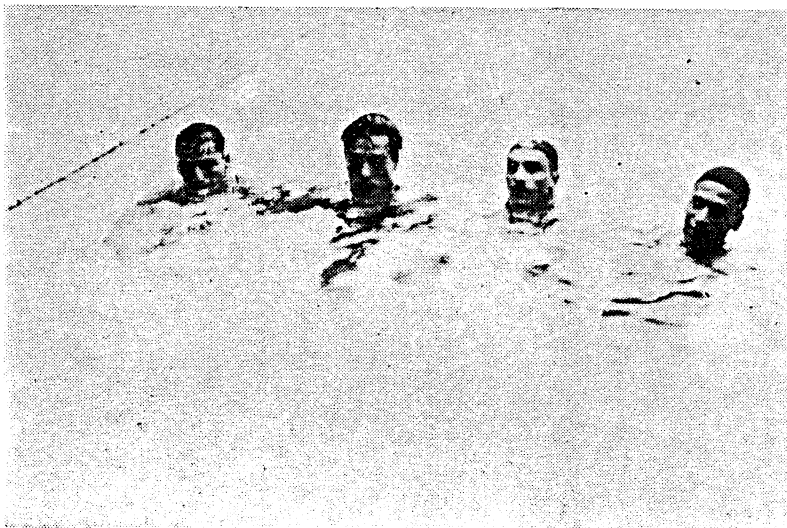
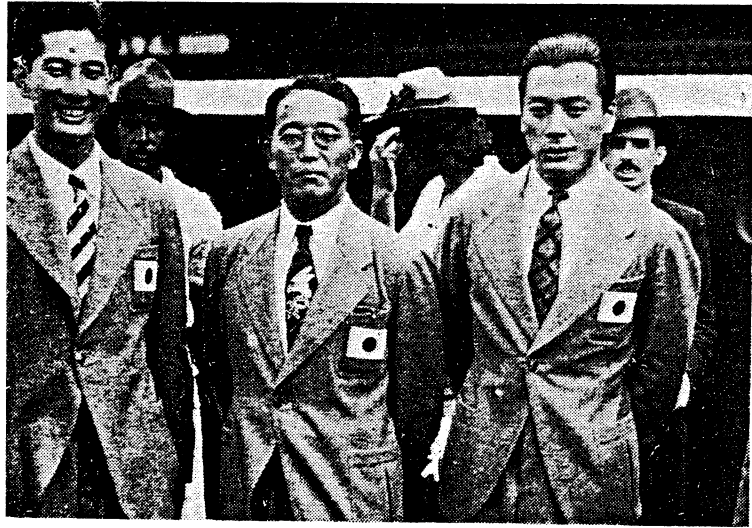
ごしつぶ……………(27)

水上聯盟關係者通信……………(35)

泳ぎのさまざま……………(28)

海外水泳情報……………小山賢之助…(29)

水上聯盟日誌……………(36)



南 米 遠 征 報 告

日 本 選 手 団 監 督 齋 藤 巍 洋

昭和十四年十月在伯邦人體育協會より、リオ大使館、外務省を通じ、日本體育協會宛、オリンピック候補級水泳選手（監督一名、選手五名）の招聘電報来る。これに對し、水聯では種々異論もあつたが1940年のオリンピックも中止の運命にあり、他に目立つた海外遠征或は國內における國際大會などはつきりした計畫が樹つてゐなかつたため、右の依頼に應ずることになり、下記五名監督一名を推薦した。

短 距 離	新 井 茂 雄 (立 大)
	遊 佐 正 憲 (横濱ゴム)
中 長	田 中 英 作 (早 大)
補 缺	本 間 俊 夫 (立 大)
背 泳	兒 島 泰 彦 (慶 大)
平 泳	葉 室 鐵 夫 (日 大)
監 督	齋 藤 巍 洋

選手の堂々たる陣容が出来たが、是等選手を派遣するためには文部省の許可を得なければならない。時局がら外務省、文部省でも南米遠征について歡心を持つてゐたが、學生の長期間に亘る海外遠征は學業に支障を來すといふ理由で駄目になつた、漸く、葉室のみが卒業期に當り學業にも比較的影響なしと

の見込が立てられ許可された。

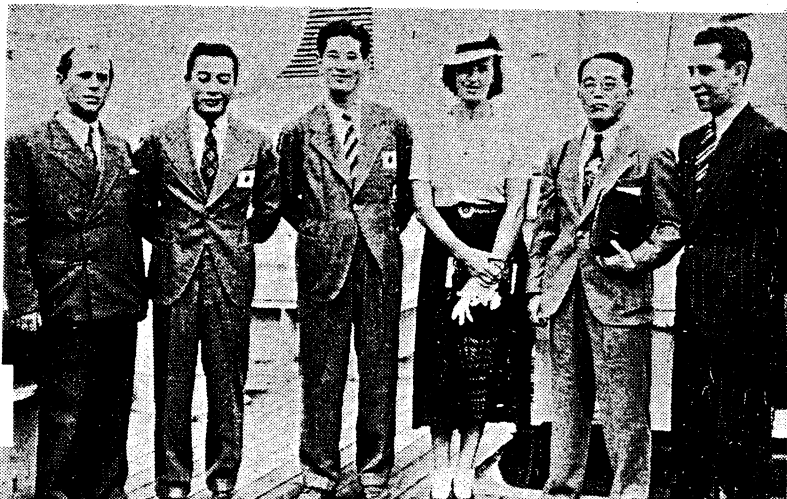
かくて一行三名、心淋しい陣容だが、十二月廿七日に外務省、大阪商船などの援助の下に遊佐、齋藤の派遣が決定した。

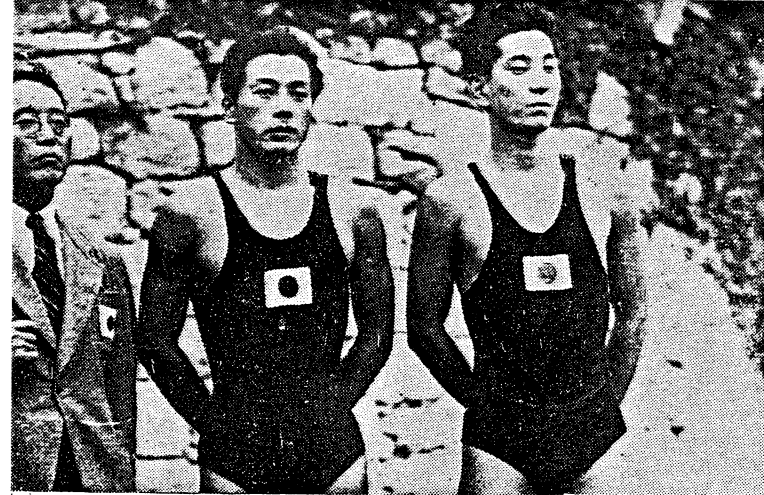
〔我々の目的は何か〕

國際親善のために南米各國を行脚するのか、或は技術の收獲を目的にするか、私はこの兩者について成功して見たい考へであつた。南米水泳界特に伯國は既に筆者が五年前に渡伯、九ヶ月間指導したことがあり、伯國では日本の泳法、技術等に憧れを持ち熱心に研究されてゐたが、男子競泳界は南米では優勝國の貫録を示す様になつて來たとはいへ、まだ、日本の水準には遙かに及ばない。100米1分1秒臺、100米背泳1分11秒臺がせいぜいだから、こんな國を訪れて我々世界的名選手が何を爲すべきか、伯國、亞國の水上市界を技術的に指導するには四十日位の滞在では短時日だ、フォーム、技術などを見せるにしても、旅から旅を廻らなければならないので、一日の練習にそれだけの餘裕がない、ではどんな目的でなければならないか。

[目次に戻る](#)

第一に海外遠征の研究だ、船中での練習法、轉戦し





つつ好記録を出すにはどんな練習法が適当か、こんな考へ、こんな決心で、兎に角記録に挑戦して戦果を収めなければ意味がないといふ決心の下に、昭和十五年一月十七日神戸出港の處女航海「ブラジル丸」に乗込む。

我々の出發決定は十四年の年の瀬も押し詰つた廿七日だつた、乗船まで甲子園室内水泳場の好意により、練習はしたが、三四日位のもので本格的練習は不可能だつた、十四年度には葉室が200米平泳2分40秒4にまで達してゐるが、遊佐の方は伯林オリンピック以來殆んど練習らしい練習をしてゐない、そして十四年度の記録は100米60秒4の貧弱さだつた。船中での練習に期待をかけてはいるとはいへ、何んとなく不安な氣持だつた。記録的收獲がなければ面目ないからだ。

〔船中での練習〕

だが幸い「ブラジル丸」船中での練習は可成りの効果を収めた、嚴寒の十七日神戸を出港、香港が近づくにつれ、氣温も上昇船中生活にも慣れて來たため、デツキでの體操もぼつぼつ始め出し、水も戀しくなつて來た。

香港を出港してからプールに水が張られ、我々の日課が始まつた。

〔船中での練習スケジュール〕

午前 7時30分 體操
11時—12時 練習

午後 1時—3時 午睡
4時—5時 練習

練習はプールの長さは二搔すれば端壁に達する程短かく、スタート、折り返しの練習には十分だが、フォームを作り、實力を養成するには困難だ、先づ、僕達が1924年巴里遠征の際香取丸で練習して見たことのある、身體にベルトを捲き付け、綱で引つ張つてする練習法を採つて見た、餘り初めから長い時間行つてもバランスが崩れるおそれあるため最初はストローク五十回位のものだつた。これでも出發前練習を行つてゐなかつたために可成りの疲労が感ぜられた。

だが、陸上生活より規則立つた生活をするため各選手の體量が増し、筋肉がついてくるにつれ、五十のストロークも百回になり、こんな簡単な練習でもフォームが作れて來た様な感が出た。

勿論スタート、打叩などの練習は缺かさなない。

船中での練習の効果は各寄港地での戦跡により窺ふことが出来る。

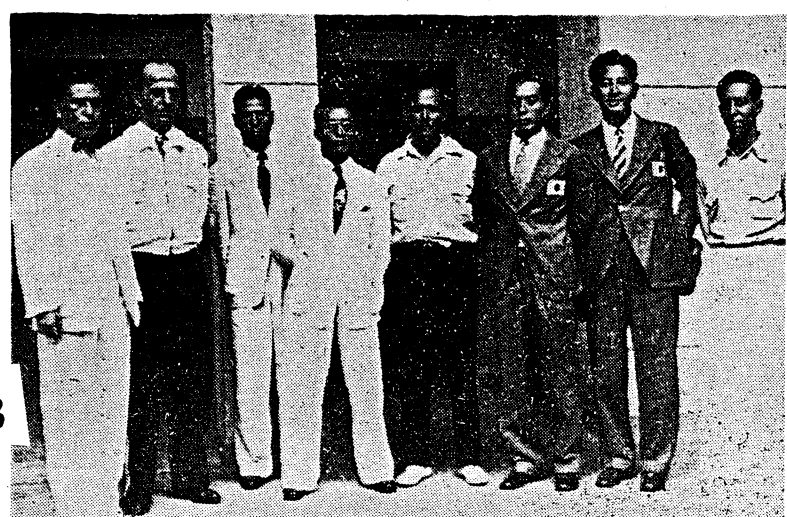
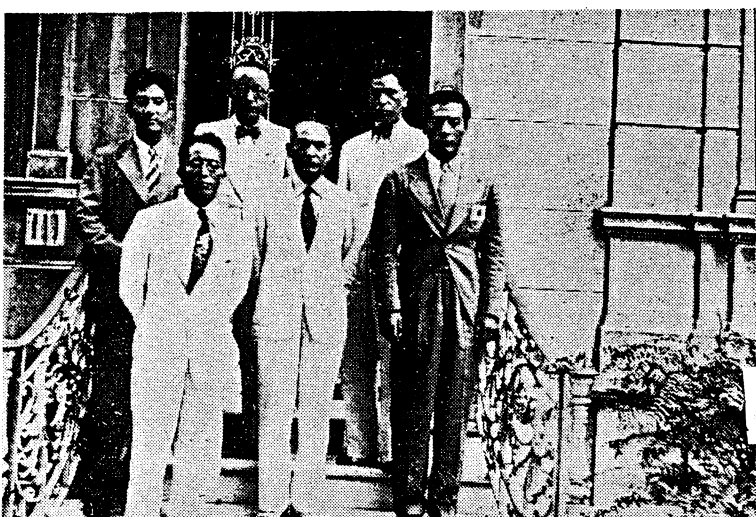
1月25日 (シンガポール、40碼)

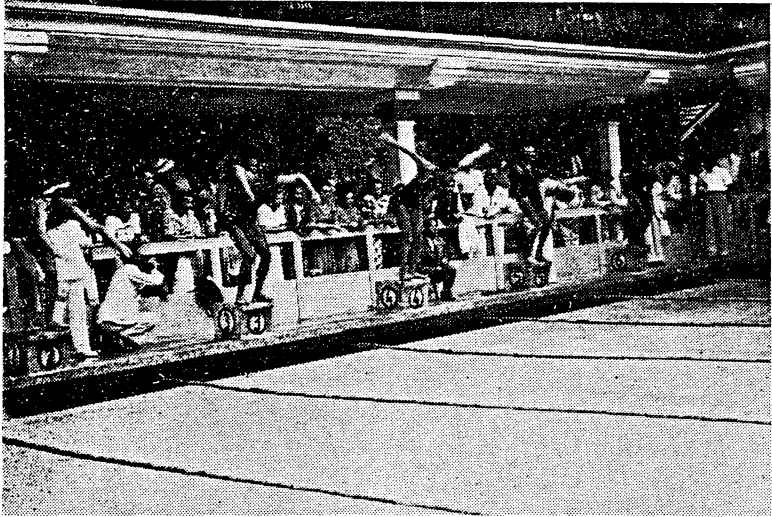
80碼 43秒 遊佐
200碼(平) 2分37秒 葉室

30日 (コロンボ、33碼¹/₃)

100碼 55秒 遊佐
200碼 2分30秒 葉室

2月12日 (ケープ・タウン、33碼¹/₃)





100 碼 54 秒 2 遊 佐
 200 碼 2 分 29 秒 4 葉 室

各寄港地では在留邦人の方々がよく我々を歓迎してくれた、練習場と、エキジビションの機会が與へられ、これを船中でのトレーニングのバロメーターとすることが出来、これ程有り難く感じたことがない、排日の旺んな南阿でも心よくエキジビション、ダーバンでも練習が出来たことなど、スポーツマンの有難さが痛感させられる。

だから、今後海外遠征する場合には必ず、各寄港地の邦人の方々と連絡をとり、お世話になる様にするよ。

〔リオ・デ・ジヤネイロでの競技〕

二月二十日未明 35 日のブラジル丸船中での愉快的な生活に別れを告げ、我々憧れの南米リオ・デ・ジヤネイロに入港した。リオは何時来て見ても世界三大美港の一つだけに、その風光の美はまた格別だ。コパカバーナ海岸通り、ボンダスーカル、コロコバードの眺めなど行つたものでなければ味はへない。ことに僕達のホテル・レヂナから朝食を喰ひながらの港灣の眺めなど、えもいはれぬものだ。

リオの水泳界は五年前と可成り趣を異にしてゐる、マリアレンク嬢、各倶楽部の選手の顔が揃つてゐるが、当時指導し、幅を利かせてゐた肝腎の海軍選手の顔が見へない、海軍の指導者の連中が、各民間クラブの指導者となつて居るが、選手連は 1937

年の革命に連座して引退、海軍スポーツ協會の地位も文部省に譲つて終つてゐた。

・ ヴアルガス伯大統領の獨裁政憲が樹立されて以來、陸軍が國內の實權を握る様になつた様だ。政治文部あたりの主要ポストには現役軍人が當つてゐる。文部省體力局長、文部省體育學校々長など現役將校が當つてゐる。

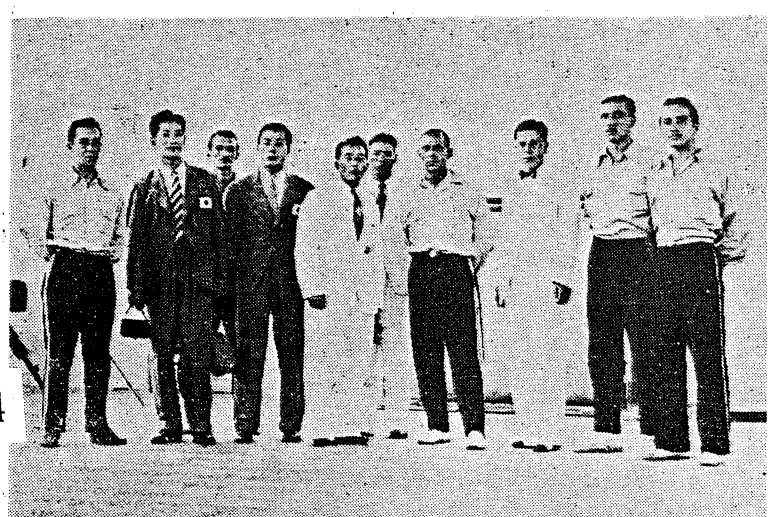
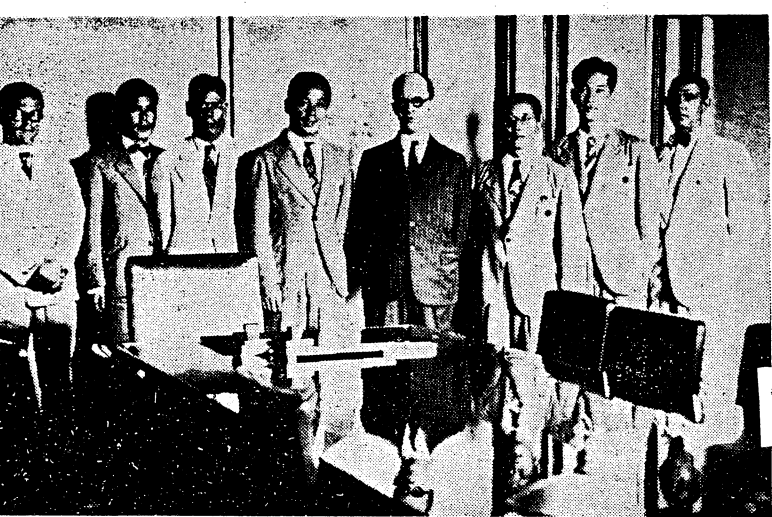
だが、我々を心から歓迎してくれた、そして文部省體育學校(全國の學校、各倶楽部の指導者を作る)の水泳部主任のポストに筆者になつてくれないかと文部大臣、校長あたりが熱望してゐた位だ。また、選手達もマリアを始め皆な心から選手に親しみを示した。だから連日の練習も實に愉快であり、この愉快的な気持ちが選手に反影したためか、上陸五日目の最初の試合に早くも葉室が 200 米平泳 2 分 39 秒、100 米平泳 1 分 11 秒 7 の短水路日本新記録を物にすることが出来、到着早々水泳日本のために氣を吐くことが出来た。

リオにおける競技會並にエキジビションの成績下記の通り。

2 月 25 日 (フルミネンセー 25 米)

200 米平	2 分 39 秒	葉 室
100 米平	1 分 11 秒 7	"
200 米	2 分 16 秒	遊 佐
100 米	58 秒 4	"

(27 日) (YMCA—25—範模)





100 米 59 秒 5 遊 佐

200 米平 3 分 02 秒 4 葉 室

(28 日) (チヂユカ—25 米)

100 米 60 秒 2 遊 佐

200 米平 2 分 45 秒 4 葉 室

(29 日) (ボルトガル俱—25 米—模範)

100 米 59 秒 6 遊 佐

200 米平 3 分 09 秒 葉 室

3 月 1 日 (フルミネンセ記録會)

100 米 57 秒 9 遊 佐

200 米平 2 分 39 秒 6 葉 室

(2 日) (ヴェラクルス學校—25 米—模範)

100 米 60 秒 4 遊 佐

200 米平 3 分 02 秒 6 葉 室

(3 日) (グアナバラ—50 米)

100 米 58 秒 4 遊 佐

200 米平 2 分 50 秒 葉 室

〔上陸後の練習について〕

練習の主眼はフォームを作ること、練習量を加減して體量を常に注意すること、兎に角元氣一杯で試合場に臨むことだつた、だから練習量は極く軽く行つた、勿論新人ではこんな風にはいかない。

- 1) 400 米位を軽く泳ぐ (2) 25 米スタート (3 回)
- 3) 打叩 200 米—葉室は溢水溝を握つてやる
- 4) 50 米のタイムを採る。

こんな風な練習で身體を水に慣らせ、泳ぎの基礎

だけを造り、エキジビションには必ず頑ん張つてペースを作ることにした。従つて遊佐なども右エキジビションの成績を見てもこの邊のヨツが窺へよう。突然訪れたプール、しかも全然練習を行つてゐない所でのエキジビションではプールのコンディションが解らないためさう良い記録が望めない、にも拘らず遊佐は常に 60 秒内外で泳いでゐたのだからその努力の程も窺へる。

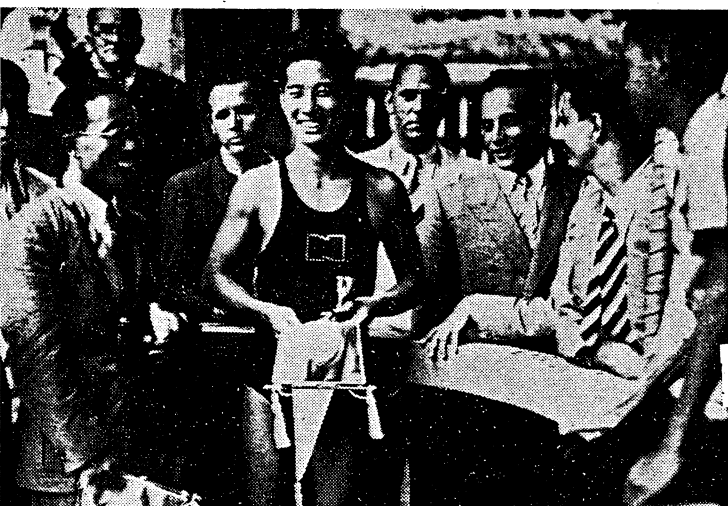
海外遠征、旅から旅を廻るためには、日本のシーズンの様に二、三回の競技會のために準備するのは趣が異ひ、旅の苦しみ、氣の張る御馳走攻め、生活様式の變化などのために、平日の練習を苦しい程やつてゐたのでは精神的に續くものではない。勿論長距離選手だつたら、練習法を少し變へないと不可なと思ふ。こんな比較的暢んびりした練習にも拘らず、我々の目的とする記録への挑戦が先づ成功し得た所以のものは、各選手が泳ぎを眞に理解してゐたために外ならない。

唯勝つことを目的として來たのでは、葉室に 200 米平泳 2 分 39 秒が望めず、また遊佐に長水路で 58 秒 4 が簡単に期待出来なかつたらう。

〔サンパウロ・サントス競技會〕

3 月 8 日汽車でサンパウロに到着、當地での生活が始まつた。連日雨天續きで不愉快な練習が續けられた。

3 月 10 日 (ゼルマニア俱—50 米)



100 米	58 秒 9	遊 佐
200 米	2 分 17 秒 5	"
100 米(平)	1 分 14 秒 6	葉 室
200 米(平)	3 分 0 秒 4	"

3 月 14 日 (エスペリア—25 米)

100 米	69 秒 1	遊 佐
200 米	2 分 14 秒 9	"
200 米(平)	2 分 42 秒 9	葉 室

葉室が一試合後の身體の恢復が體力の關係で遅い。遊佐の様に 30 分位で安直に恢復が出来る様な不死身でないので、無理をしないためこれからの競技會には一日一種目とすることにした。

3 月 17 日 (サントス—25 米)

[葉室苦戦]

100 米	57 秒 8	遊 佐
100 米(平)	1 分 11 秒 3	葉 室

葉室がジョルダンのバタフライと接戦、95 米まで完全にジョルダンがリードしてゐたが、葉室同タイム 1 分 11 秒 3 で辛勝して、やつと面目を保つた。勿論ジョルダンの平泳は 200 米では問題ではないが、百米としては立派なものであつた。歸途米國のロス、A・C の招待會で米國選手のバタフライを見たが、バタフライ泳法としては南米の方が進歩してゐる様だ。即ち、腕、脚のバランスが良い様に思はれる。マリア嬢が、200 米平で 2 分 56 秒の世界記録を作つてゐるが、確かに脚力を十分利用して、そのバランスが良い様である。

どんな泳ぎ方かといへば、脚のキツクで十分伸展を計り、それからストロークを利かせて腕を抜き上げてゐる、米國の様に脚力のキツクと殆んど同時にストロークを利かせるのと少し趣を異にしてゐる。

[伯國での感想]

伯國では上陸早々葉室が 200 米平泳で 2 分 39 秒臺、100 米平泳でも 1 分 11 秒臺の短水路日本新記録二つづゝ物にし、また遊佐も 100 米では長水路で 58 秒 4、短水路では 57 秒 8 といふ共に豫想以上の好記録をあげ、先づ我々の遠征の目的である記録への挑戦が實現された。相次ぐ競技會、プールコンデイションの異つた所でこれだけの成果がよく収めることが出来たもんだと、兩選手の涙ぐましい健闘振りに感謝せずにはゐられない。それ程兩選手とも遠征の目的について、十分理解を持つてゐた。そして、完成された選手の試合前における練習について考へ

させられるものが多々あつた。

一方、伯國水泳界はどんな風だつたか、伯國は水泳熱が普及されてゐるとはいへ、まだ大都市のみにしか練習場の設備がない、サンパウロには 800 萬圓の工費で州立綜合運動場が建設されてゐたが、このプールなどはロス・オリムピック・プールより立派なものだ、その他運動俱樂部には立派なプールの設備があり、その衛生設備も立派なもので一驚させられる。だが、練習場は大都市だけだから水泳熱が普及されてゐるとはいへ、選手は數へる程しかない、國民皆泳を目指し、何千萬の海の子を擁する日本とは比べものにならない。

しかしこの選手層から比較すれば伯國も必ずしも、劣つてゐるとはいへない感がする。記録的には 100 米 60 秒 3 のジョルダンがをり、100 米背泳でも 1 分 11 秒臺、100 米平では兎に角ジョルダンが葉室と接戦するだけの實力を示し得たんだから、伯國としても上出来だつた。そして海外遠征は第二流でなく、最高位を常に揃へ、萬全を期せねばならぬといふことを葉室ジョルダンの一戦で痛感した、その上に女子方面ではマリアレンクの世界記録を始め好記録保持者の粒が揃つてゐるんだから、伯國も思つたよりは充實したものである。

女子南米記録保持者は左の如くである。

400 米	5 分 30 秒 8	コーチンニヨ
100 米背	1 分 22 秒	S・レンク
200 米平	2 分 56 秒	M・レンク

この他に百米でコンチンニヨが 1 分 9 秒臺、これに接戦するのが三、四名、S・レンクに挑戦するのが數名居るんだから却々確つかりした陣容といへよう女子選手の體力も M・レンクを除いては大したものと思へない、だのに可成り立派な泳ぎ、記録を出し躍進を示してゐる。我が女子水泳界についても一考すべきだ。

[亞國訪問]

伯國での滞在一ヶ月、三月廿日サンパウロからコンドル機でブエノスに向ふ、二千米機上から下界の眺めも亦格別だ、約七時間ラプラタ河を渡ればブエノス市だ。

ブエノスは南米の巴里といふだけに筆者には餘り興味がないが、社交設備、キャバレーなどの完備、美しさには一驚、社交運動俱樂部なども亦驚く程發達してゐる。市街のセンターオベリスコの近くにあ

る體育俱樂部など、八階だての堂々たるビルだ。屋上に室内 25 米のプール、その他に室内體育館テニスコートがあるだけなのに、會員二千名一時に脱衣出来るラツカーの設備は數階に亘つてある、また會員二萬を越へる、こんな立派なクラブが十以上を數へ、小クラブを加へれば五十以上に達し、殆んどプールを持つてゐる。

選手層は伯國程のものではないらしく、伯林オリンピック女子百米第二位のジャーネット・キヤムベル嬢も既に昨年引退し、男子方面もこれといつて目立つた選手が居なかつた。遊佐の百米に對して、當市のスプリンターが五十米づつリレーを行つて對抗しなければならぬ程だからである。

我々はまた亞國でも好記録を収めた、遊佐の健闘により 100 米 56 秒 8 を物にし、亞國新記録として残し得て、訪亞の目的を達した。不幸葉室が卅日最終競技會出場のためにブエノスからロサリオロに遠征中急性盲腸炎に患ひ、午後九時からの競技會に顔だけ出したが、十二時過ぎになつて盲腸炎と診斷され、卅一日九時の列車で歸武、四時間の汽車の旅も案ぜられたが、武市着後直ちに獨乙病院に入り手術され、命拾ひして、我々もほつと安心させられた。

葉室の経過も良好、だが、我々の武市出港が四月一日なので、三人揃つて歸國することが出来なくなつたのが残念だつた。細井領事が萬事心よく葉室を引き受けてくれたので、我々も武市に心を残しつゝモンテビデオ丸に乗船歸途についた。

亞國滞在は短期間だつた、その上に、パラナ、ロサリオなどに遠征したために、落ち着いて亞國水泳界を觀察することが出来なかつたのは残念だつた。だが、遊佐の 100 米 56 秒 8 は短水路ではあるが、フイツク以來初めて 57 秒を破り、しかもこの記録は九時間の汽車の旅、二時間の船の生活後上陸、その夜の競技會で作つたものだから全く豫期以上の記録といふてよからう。また、氣分の持ち方一つで、こんな成績も上げ得るもんだといふことが示され、實に愉快だつた。

〔亞國での成績〕

3 月 23、24 日 (パラナ、25 米)

100 米	56 秒 8	遊 佐
200 米	2 分 12 秒	〃
100 米平	1 分 12 秒 8	葉 室

200 米平 2 分 46 秒

〔歸國の途につく〕

往航はアフリカ經由だが、歸途はパナマの方を廻つて來る、約二ヶ月間の行程だ、遊佐一人で淋しかつたが、各寄港地では矢張りエキジビションを續けた。ことにベレン、ヴェネゼイラ國の首府カラカス市、パナマ市などの印象はよかつた。

今度の遠征で特に感じ、また感謝しなければならないことは。

在外邦人、外務省出先官の方々が非常に歡待してくれたことだ。我々は排日貨の旺んな南阿で泳げるとは思はなかつた、また、ヴェネゼイラなどでも然り歸途計畫しなかつた。伯國バイヤなどでも僕達が電信局に電報を打ちに行つた、事務員が電文を見て、我々の水泳選手であることを發見、早速當市の水泳協會長に紹介してくれ、その案内で市街見物、エキジビションなどを行ふことが出来た。當市にも、また、ロスと同様な設計になる五十米の立派なプールが發見された。こんな田舎にもこんな立派な設備があるのかと、全く驚嘆させられ、諸君の斡旋を心から感謝してゐる。

また南米は歐洲大戰も知らぬげに、最近のスポーツ熱は非常なものだつた。ことに水泳熱が旺んになつて來たことを五年前に比較して、痛感した。

この好機に我々の南米訪問は凡ゆる意味で有意義であつたと確信する。

我々は南米遠征の結果得たものは氣の持ち方如何で、成果が立派に收められるといふことだつた、毎回のオリンピック大會で日本が成功するのも、泳ぎの選手達が皆氣分が合つて、した向きに制覇に邁進するがためだ、この氣合が泳ぎを上達させる秘訣だといふ信じる様になつて來た、また、確信もついて來た。

泳ぎのフォームなどは泳ぎの基本となる原理さへ理解してゐれば、枝の末葉などはどうでもよい、しつかり、選手の心理を握んで指導すれば、自然と各人に合つた泳ぎが完成されて來るのである。

だから、「天野の泳ぎが良い様だから眞似よう」なんかと氣付いて、外形のみを觀て、その根本を忘れてゐる様ではとんだ目に會つて終ふ、米國には専門のコーチが居るがキーファー、メデイカなどと同じフォームの選手を二人以上作るこれが出来ない、それは、フォームは各人各様であるからだ、基本を識つて精神を忘れない様に練習、指導して貰ひ度い。

南 米 派 遣

水泳選手の動靜に関する件

今般我水泳選手一行（齋藤監督、遊佐及葉室）は「ブラジル」丸にて南米へ遠征の途次當地寄港の機を利用し二月十二日當市「ロング、ストリート、バス」に於て「エキジビジョンゲーム」を行ひたる處右催は事前の連絡不充分にて（戦時關係にて船上よりの電報差止めらる）僅かに當日の新聞に發表せられたるに不拘多數の觀衆を呼び彼等の優秀なる技術は驚異賞讃の的となり一大「センセーション」を惹起し我文化宣傳に多大の効果を收めたり（詳細は別添新聞切抜御参照ありたし）

尙當地關係者の談を綜合するに日本が斯る大選手の派遣に際し豫め充分宣傳せざりしは頗る残念にて今後は是非事前に宣傳せらるること肝要なり又當方面には日本選手と太刀打するものなかりため一人相撲に終りたる感ありたるが今後は是非多數の選手派遣方望ましとの趣なりしが聞く處に依れば今次派遣は種々の事情に依り僅かに二名となりたる由なるが現下の我國情の下に於て種々の理由あるべきも却つて斯る際こそ我國が多數の運動選手を派遣し得る程餘裕綽々たることを誇示すること肝要なりと存せらるるに付ては此點關係當局に然るべく御傳達の上今後「スポーツ」に依る文化宣傳に一層力を入れること切望して止まざる次第なり

右報告申進す

在「ケープタウン」

領事 吉田 賢吉

本邦水上選手亞國來訪の件

伯國に於ける日程を終了せる本邦水上選手一行は三月二十日空路當市に來着豫め作成し置きたる別紙「プログラム」に従ひ亞國各地に轉戦續々新記録を樹立し水上「ニッポン」の貫録を遺憾なく發揮し四月一日出帆の「モンテビデオ」丸にて齋藤監督遊佐選手の二名歸國の途に就けるが葉室選手は三月三十日「ロサリオ」市遠征中突如急性盲腸炎の徴候現はれたるにより急遽當市に歸還獨逸病院に入院せしめたる處即刻手術の要ある趣なりしを以て「モンテビデオ」丸政醫をも立合せの上切開せる次第なるが幸ひ經過極めて良好本月中旬退院暫時療養の上五月二日發の「アルゼンチナ」丸にて歸國せしむることと相成りたる處今回の亞國來訪に關しては亞國水上聯盟は衷心之れを欣び又當國水泳選手一同は多年蘊蓄を傾け進歩發展せる本邦泳法を學ばんとし齋藤監督及選手に近づき各所に於て美しき日亞親交の情景を現出せる實狀にして右は亞國各新聞紙上にも反映し連日各紙は多大の紙面を割き選手の動靜を報道せる次第にて本邦文化對亞宣傳紹介上豫期以上の効果を擧げたるは本使の満足とする所なり茲に別紙一行滯在中の動靜を記述す。

在亞爾然丁

特命全權公使 内山 岩太郎



パラナ運動俱樂部の競技會に臨む



パラナ運動俱樂部に於ける競技會にて



パラナ運動俱樂部に於ける競技會にて



パラナ運動俱樂部の食卓を圍んで

競 泳 選 手 の 動 静 報 告

本邦水上選手一行滞亞中動静

一、到着及歓迎「レセプション」

三月二十日空路聖市より來着直ちに公使官邸に於ける選手紹介「レセプション」に赴けるか当日は亞國水上聯盟幹部亞國一流選手「オリンピック」委員、有力新聞社運動部長各運動俱樂部代表等百餘名參會盛會裡に散會せり。

二、「パラナ」市日亞競泳會

二月二十三日午前七時「サンタ、フェー」驛に下車せる水泳選手は多數の在留民及小學校兒童に迎へられて同市に小憩の後對岸「パラナ」市に向へり。「パラナ」市は亞國に於ける最大の亞麻仁の集散地にして風光明媚住民の風俗又濃厚にして道徳觀念の強きことを誇り居れるが「スポーツ」の盛んなることにも於ても他州を凌駕し特に一行を招聘せるパラナ・ローイング・クラブ(Parana Rowing Club)は州政府及市廳の要人を幹部會員に網羅し居るを以て今回の我が水泳選手一行の同市訪問は當地「スポーツ」界の異常なる出來事として全市を擧げて歓迎せり。

午後五時會場に入れば觀衆既に場内に滿ち日亞兩國の國旗を掲げ選手の入場と共に兩國の國歌を吹奏し麗はしき日亞親善の情景を現出しつつ嚴肅なる開會式を行ひたり、番組も進行して遊佐選手の出場となるや一同固唾を呑んで同選手の一擧手一投足を見守り居りたるが「スタート」の銃聲と共にその沈黙は破られ最初の五十米を二十六秒二との「ラウドスピーカー」の放送に觀衆は益々熱し遊佐選手を聲援し遂に自由型百米に五十六秒八の驚異的記録を樹立するや滿場の觀衆は總立ちとなりて狂喜し大なる昂奮裡に愛國行進曲は奏せられ在留邦人中には感激の餘り涙さえ浮べ居たる者も見受けられたり次いで葉室選手の平泳百米の獨泳行はれたるが同選手は鮮やかなる「フォーム」にて悠々一分十二秒八を以て南米記録を破り觀衆賞讃的となれり。

斯くて競泳會第一日を大成功裡に終りたる一行は新聞記者寫眞班の包圍放撃を受けながら宿舎に引揚げたり。

同夜は俱樂部幹部と晚餐を共にせるが、翌二十四日午前中輕き練習を爲し齋藤監督も亦亞國水泳選手達を懇切に「コーチ」せり。正午當地在留邦人同胞會主催の「レセプション」に出席したるが邦人一同口を揃へて「日本及日本人の爲に萬丈の氣を吐いて下さつてこんな嬉しい事はない其の上日亞親善まで出來て」と選手一行の同市來訪を感謝し居りたり。

午後五時より再び競泳會は開始せられ會場は立錘の餘地なきまでの超滿員となり居りたり。本日遊佐選手は二百米自由型に於て二分十二秒、葉室選手は二百米平泳に二分四十六秒八の好記録を出して共にその貫録を遺憾なく發揮せ

り。

斯くして「パラナ」遠征の使命を完全に果せる選手一行は俱樂部員、在留邦人及一般民衆の歡呼の聲に送られて歸武の途に就けり。

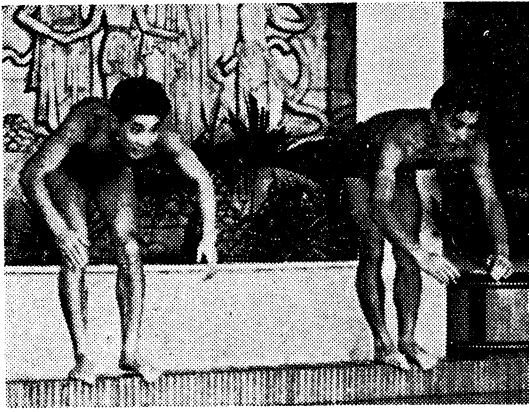
三、「ブエノス、アイレス」市水上大會

三月二十八日午後九時半より亞國運動俱樂部中水上競技に最も力を注ぎ居るインド・ワークループ(Hindu club)に於て亞國一流選手を交へたる日亞競泳會行はれたる處當日は前記「パラナ」市に於ける遊佐、葉室兩選手の好記録もあり早刻より觀覽者會場に溢れ入場不能に陥りたる者約七、八百に及びたる實狀なりしが同夜の競技に於ては遊佐は一般の期待に背かず百米(二十五米「プール」)を五十七秒四又葉室は二百米平泳にて二分四十三秒一の好記録を出し萬丈の氣焰を擧げたるが翌日の各紙は一齊に前記好記録を大々的に報道すると共に伯國到着以來日本選手の好調は日頃よりの組織的にして間斷なき練習の賜にして亞國選手の模範とすべく又葉室選手は「クラシック」平泳法の精隨に徹し且つ其の見事なる「ターニング」は世界無比なり遊佐選手の泳法は客年來訪の米國「フィク」の如く「亂」なく常に「リズム」を保ち居る點は大いに學ぶべきにして兎に角葉室、遊佐及「フィク」の三選手は亞國來訪外國選手中好記録樹立の三幅對にして斯かる一流選手を迎へたるは亞國水泳界の幸福なりと一齊に絶讃を放ち居れり。

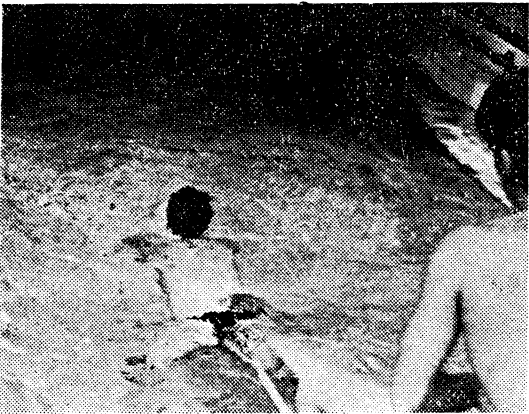
四、「ロサリオ」市日亞競泳會

三十日午後九時より「ロサリオ、ウラカン、クラブ」に於て第三回日亞競泳大會を舉行することとなり亞國一流水泳選手も約十名「ブエノスアイレス」より來りて參加し一層興味を添へたるが定刻には會場狭き迄に觀衆掛掛け日本水上選手を待ち受け居たり一方葉室選手は今朝來腹痛を許へ居りたるが單なる寢冷え位ならんと別に氣にも留めざりし處夕刻に至るも痛み止まざるにより醫師の診察を求めたるに未だ歴然たる徵候現はれざるも盲腸炎の疑ひありとの診斷なりしに依り残念ながら同選手の出場は之を見合せ遊佐選手のみ泳ぐこととせり。

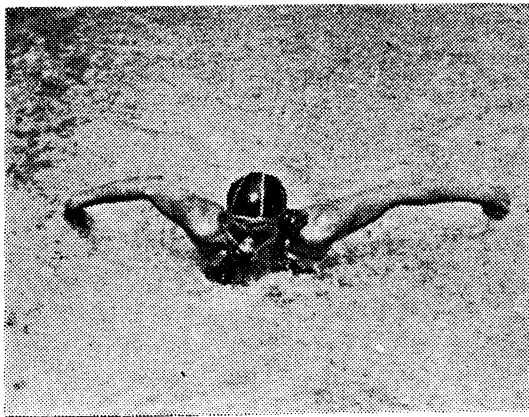
齋藤監督遊佐選手會場に來りて會長の紹介を受くるや滿場拍手を以て之を迎へ遅れて葉室選手も病を押して出場し挨拶を爲し直ちに宿舎に歸還せり。當夜遊佐選手は百米自由型に亞國選手二人組「リレー」(一人五十米)を相手として泳ぎ五十七秒四の好記録を出し又齋藤監督も背泳及び「ターニング」の模範を示して好評を拍したり。最後に日亞混合「メドレー、リレー」行はれたるが遊佐選手は「ラスト」の五十米を二十五秒「フラット」にて泳ぎ切りその無敵振りを發揮し盛會裡に當夜の競泳會を終了せり。



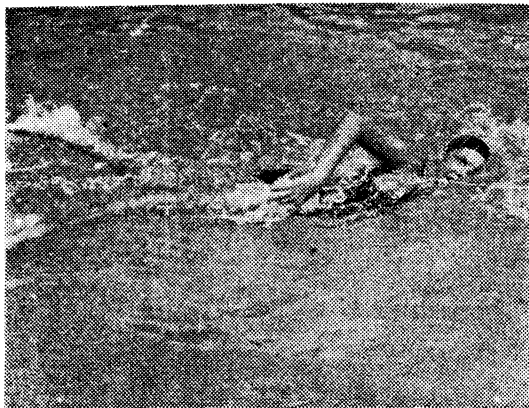
ブラジル丸プールにて



ブラジル丸プールに於ける練習



二百、四百米平泳世界記録保持者マリ
ア・シンフ嬢のバタフライ(ブラジル)



ブラジルのピアターデ・コーチンニョ嬢の泳ぎ、
四百米自由形(五分卅秒)、百米自由形(一分九秒)

遊佐、葉室兩選手伯國リオ市滞在中の動靜に関する件

拜啓 愈々御清祥奉賀候陳者頭書の件に關し今般在リオ市本會小林聯絡員より別紙の如き興味ある報告に接し候に付右寫一部貴覽に供上度尙貴誌水泳に可然御掲載被下候はば幸甚に奉存候
先は右御通知旁々得貴意度候 敬具

追而亞國ブ市アンデイ社より送附越の兩水泳選手寫眞四葉同封にて御送附申上候間利用被下度候

財團法人國際文化振興會

主事 青木 節一

水泳選手當地滞在中の動靜報告の件

水泳選手一行は二月二十一日ぶらじる丸にて到着三月十七日迄滞伯同日飛行機にて「ブエノス」に向け聖市を出發せるが其の中三月七日迄當地に八日より十七日迄聖市に滞在せり一行の當地滞在中は當館後援の下に日伯中央協會小林主事をして伯國側運動團體との連絡乃至は競技會開催の世話等を爲さしめたるが水泳が當國一般の興味を有する「スポーツ」なりしことと遊佐、葉室兩選手が技倆優秀なる上に舉措態度も良く模範的選手たりし關係より到る處に好印象を與へ日伯親善に貢獻すること大なりしものと認めらる

當地體育學校は三月一日飛行場「レストラン」にて歡迎の爲に午餐會を催したるが我方の派遣團に對し伯國側が歡迎宴を開きたることは殆ど先例なきことにして以て伯國側の熱心なる歡迎振りを知るべく此の種「スポーツ」に依る兩國の親善關係促進上最も効果的なるを以て將來共屢々此種運動選手派遣を試みることに適切と思料す

尙一行當地滞在費は約十「コントス」なりしも當館、商船、正金、三井、蜂谷にて負擔し右の外當館は選手歡迎並に伯國側關係者との連絡を兼ね「レセプション」午餐會等を催せり
右報告申進す

在伯特命全權大使

桑島 主計

水泳選手一行リオ滞在中の動靜

大阪商船會社新造船「ブラジル」丸の處女航海に際し當伯國に特派せらるることとなりたる遊佐正憲、葉室鐵夫兩水上選手並に監督齋藤巍洋氏の滞伯中「プログラム」に關しては伯國側運動團體との連絡その他の關係上在聖市邦人體育協會(伯國新法規に依る登記團體にして「ブラジル」名 CLUB ATLETICO COLONIAL と稱す)の手を通じて行ふこととなり、小生は大使館の指令に基き、同協會のリオ代表名儀を以て當「リオ・デ・ジヤネイロ」市に於ける「プログラム」編成に當ることとなりたり。

一行滞伯中の費用支辨は之を在留邦人有志その他雜收入を以て充たすこととし、伯國側に對しては競泳會、模範水泳會等開催の費用を負擔せしむることとし之が準備の爲、田川邦人體育協會長、藤平常任幹事の土府あり、佐藤大使館參事官、工藤大使館書記官、佐藤健夫大阪商船會社駐在

員並に小職を加へて實行に就き種々協議を重ねたる結果、在留民有志を以て日本水泳選手招致委員會を組織すべき事に意見の一致を見大使館佐藤參事官の名に依りその際推薦せられたる有志各位へ依頼狀を發送する事に決定せり。

越えて昭和十五年一月九日リオ市伯國側關係當事者と交渉の爲藤平體育協會常任幹事、再度上府し小職同導して國立綜合大學附屬體育運動高等專門學校 (ESCLA NACIONAL DE EDUCACAO FISICA E DESPORTOS DA UNIVERSIDADE DO BRASIL) に校長イグナシオ・フレイタス・ロリン少佐 MAIOR IGNACIO FREITAS RoLIN を訪問し一行の目的達成の爲必要なる援助を要請せる處快よく承知せられたるを以てリオ市に於ける一行の行動に關する斡旋を依頼し、特に海軍運動聯盟伯國運動聯盟リオ水上競技聯盟等の協力を要望せり。

それより右體育運動學校教授、マリア・レンク嬢の紹介に依り伯國運動聯盟理事長ルイス・アラニヤ氏 (Luiz Aranha) を訪問協力を求めたるに、同聯盟水上競技部長アビリオ・ミヌチ・テイシエイラ氏 (Abilio Minuci Teixeira) に紹介せられ同時に同氏に本件に關する全權を委任せられたり。

更にパウロ・メイラ海軍大佐 (Commandante Paulo Meira) を海軍クラブに訪問、海軍運動聯盟の特別なる援助を希望せるところ、同様の快諾を得たるも、海軍側としては近年水泳は全く實行し居らず組織も目下無き爲、具體的援助の困難なるを述べ體育學校、運動聯盟等と實際問題を協議せられたしとの意思表示ありたり。

右歴訪に依り大體の情勢を知るを得たるを以て、一月二十二日各團體代表者をリオ市日本クラブに招待し晚餐を共にしプログラム編成の打合せを行ひたり。

イ、出席者 (順不同)

體育學校側	コロソ教授 アレノ教授 (校長不在の爲代理)
海軍運動聯盟	パウロ・メイラ大佐
伯國運動聯盟兼リオ水上聯盟	アビリオ・ミヌチ氏
伯國運動聯盟技術部代表	アンドラデ・ベケン氏
伯國運動聯盟理事	アントニオ・ガルシア・ノヴァエス氏
大阪商船會社駐在員	佐藤健夫氏
在伯邦人體育聯盟代表	小林進

ロ、リオ市に於けるプログラム骨子決定

二月廿五日及三月三日競泳會を行ふ
三月四日ベロ・オリゾンテ市向け出發迄少くとも二回の模範水泳會に出席。
三月七日リオ發聖市向出發

ハ、毎日の練習は各クラブのプールを自由に使用することを得ることとし一行の練習時を利用して一般伯國選手、

コーチャー等と交歓すること。

ニ、海軍運動聯盟は海上のピクニックに一行を招待する。
ホ、リオグランデドスール州水上聯盟より一行の招聘を申出あり、飛行機に依りポルト・アレグレ氏通過の途、數日滞在を希望し居り之が實現に就ては日本側で考慮する。
ヘ、各招待會、訪問その他の申出に就てはロリン少佐の手許に於て統制し、直接一行と約束等をなさざる事。

右打合會後數回に亘つて體育專門學校々長ロリン少佐と會談しプログラムの編成に就て協議し、ブラジル丸船上の齋藤監督にプログラム大綱を通告せり、更に二月廿日藤平體育協會幹事の上府を機に大使館に於て最終打合會を開き萬端の用意を整ふ。

以下一行リオ滞在中の日誌なり。

二月廿一日 (水)

快晴、午前七時ブラジル丸入港、藤平體協幹事と共にランチにて同船に赴く、檢疫後午前九時着岸す、船上にて桑島大使に挨拶をなし體育學校代表、伯國體協リオ水上聯盟その他關係者の出迎へを受け、新聞記者と會見の後下船す。豫て體育學校よりの手配あり、通關は形式的に行はれたるのみにして直ちにレヂナ・ホテルに入る。

體育學校長より一行滞在中隨行を命ぜられたるオスワルド・ワエレイラ・ダ・コスタ教授 (水泳専門教授) Oswaldo Ferreira da Costa 齋藤監督と共に日程に關する打合せを行ふ、尙又豫て申出ありたるリオグランデドスール州訪問の件はペルー及チリー訪問中止となり四月二日ブエノスアイレス出帆モンテビデオ丸に乗船する爲時日の繰合つかざるを以て中止することとなす。この旨オスワルド教授を通じて傳達を依頼す。晝食後休息、午後三時體育學校々長ロリン少佐の訪問あり同少佐に同伴せられ文部省にカバネマ大臣を訪問、來伯の挨拶を述べ、齋藤監督と大臣との間に體育問題に關する意見交換などあり、大臣は特に青少年教育の重要性を説き日本の教育制度を賞讃せられ近く成立すべき「青年隊」(Juventude) に就て説明せらる。

會見約三十分の後文部省を辭し、外部省に赴くオスワルド外務大臣に同様來伯の挨拶を述べ、同大臣より充分の活躍を祈るとの答辯ありたり、尙右二省に於てロリン少佐は日本人水泳コーチを招聘すべき旨を強調し、文部大臣は之を具體化する様努力すべしと述べたり、右は大臣とロリン少佐との會話内容を傍聽したるものにして既に何等かの計畫が進行しつつありたるもの如く見受けられたり、外務省辭去後フルミネンセクラブ内プールに於て練習を行ひたるが長途の旅行にも拘らず好調にして齋藤監督が憂慮し居りたる「長途の旅行によるコンディションの低下」は旅行中の練習法の如何によつて解決せらるる可能性を見せ、我國水泳陣の海外派遣に新課題を呈せんとするものと信ぜらる。

二月廿二日(木)

快晴、午前九時體育運動專門學校訪問、同校を參觀す、創立後七ヶ月の事として施設その他不備の點尠ならざるも、ブラジルの體育行政が今回完全に政府の統制下におかれ全國に指導員を派遣すべく同校は目下約百五十名の指導員を養成中なり、即ち規定により中等學校以上は體育醫事施設及體育運動設備を有することを規定せられ居り之が専任教師及體育醫師の養成に全力を注ぎ居るものにして、科としては體育教師養成を主とするもの及び醫師の再教育をなすものに別れ居る點等は一行の注目を惹けるものの如し

次で大使館に赴き着伯の挨拶をなす。

午前十一時よりフルミネンセプールにて練習す、益々好調にして遊佐選手の如きは百米を六〇秒にて易々と泳ぎ葉室選手亦内地に於ける練習記録を破る等一時はプールの長さに疑惑を抱きたる程なり。

本日海軍側より海軍大演習の爲アツシエ大佐、メイラ大佐等齋藤氏在伯當時の關係者何れも多忙にて海軍運動聯盟訪問等豫定立て難く明日の海軍訪問を中止された旨申出ありたり。

二月廿三日(金)

曇、午前中フルミネンセプールにて練習、食後休息、午後三時練習を行ひその後市中にて買物五時半伯國運動聯盟を訪問す、午後六時、大使主催レセプションに出席午後八時水曜會主催晚餐會に出席す。

本日後練習中齋藤氏と舊知の元軍醫パイヴァ氏、海軍運動聯盟所屬カルヴァリヨ見習士官、齋藤氏に挨拶の爲フルミネンセプールに來訪あり、齋藤氏が海軍水泳部の現況に付て種々質問せるに對し、「水泳界統一の爲海軍水上聯盟を解體し行政部門を伯國運動聯盟に、技術部門をリオ水上競技聯盟に一任し海軍側の指導的立場に在りし、士官にして轉任退官する者もあり、以來海軍水上競技は漸次凋落し、一昨年統一黨員の手によつて行はれたる大統領暗殺陰謀事件にベネビデス及ヴァラル等も連座せる爲、水泳陣の核心を失ひ活動を停止するの止むなきに至りたり」と現況に就て説明あり、齋藤氏としては今回來伯に際し期待せる海軍側の現況に落膽の色を示せり特に同氏が最も將來を期待せるベネヴィデスが今尙フェルナンド・ノロニヤ島に就役中なるを聞き痛く失望せるものの如し。

二月廿四日(土)

曇、後晴、午前九時陸軍體育學校を訪問す。同校副校長の案内にて校内を參觀す、同校は全國各軍團より選拔せられたる將校及下士官に一般體育運動競技の理論及實際を教授し體育指導員として元隊に復歸せしむるを以て目的とし伯國綜合大學體育運動專門學校は同校より養成、獨立せるものにして、今尙は兩者間に緊密なる聯繫

あり、體育行政の國家統制は陸軍を中心として漸次強化せられつつある實情を説明せらる。

同校より直にフルミネンセプールに至り、正午迄練習し佐藤參事官夫人の招待を受け、同邸に於て午餐の饗應を受く、午後休息の後四時より再び練習を行ひ六時ホテルに歸着。

二月廿五日(日)

曇、霖雨を交ふ、午前十時より軽い練習をなし、參事官邸にて晝食、午後四時よりリオ水上競技聯盟を主催少年水泳大會合同日伯水上競技大會に臨む、滿員の盛況裡に左の戦績を以て遊佐葉室兩選手共優勝、葉室選手は日本記録を樹立す。

(イ) 二百米平泳

1着	葉室鐵夫	2分39秒0(日本記録)
2着	ペドロ・カルヴァリヨ	2分53秒3
3着	ウイルソン・ロザード	3分04秒4

(ロ) 百米自由形

1着	遊佐正憲	58秒4
2着	アルマンド・フレイタス	1分2秒2
3着	ジョン・カルヴァリヨ	1分3秒4

(ハ) 百米平泳

1着	葉室鐵夫	1分11秒7(日本記録)
2着	ペドロ・ミツヒエリ	1分15秒4
3着	モアシル・マシヤード	1分21秒2

(ニ) 二百米自由形

1着	遊佐正憲	2分16秒2
2着	デメトリオ・ベゼラ	2分25秒3
3着	アロイジオ・メロ	2分31秒4

右終了後、桑島大使は體育學校長大會役員の祝辭を受け、選手一行の勞を犒らはれたり。

葉室、遊佐共に上陸以來好調裡に練習を積込みたる結果本日は期待以上の好記録を以て水上日本の偉力を示すを得たり、特に葉室の泳法の如き從來當國水泳界に於て全く見ざりし處にして専門家は異句同音に右泳法の完璧を認め世界第一の實力が奈邊にあるやを覺り得たるものの如く翌日の新聞は一齊に此の點を強調し居りたり。

遊佐は北米のフィックと對照せられ種々論議せられたるも、第一線を退きたる同選手にして尙ほ斯の如き強大なる實力を有することに何れも驚嘆し我が水泳陣の堅固なるを賞讃し居れり、唯一、二新聞紙に現はれたる評論中には遊佐のストロークが若干緩慢にして迫力の足らざるを指摘しその點フィックを推すものありたれども之は當國に於てスピードを腕の力のみによつて獲せんとする一般的信念ある點より生ぜる評論にして齋藤監督は上陸以來兩選手の練習と併行して伯國選手コーチのしてに應じて指導をなすに當り腕の運動は脚の叩打に順應すべきことの理を説き居りたるを以て今後本問題に對する研究

が一般に行はるるに至るべしと信ぜらる。晚餐後コバカバナ、イパネマ方面にドライブす。

二月廿六日(月)

曇、午前、午後ともポタフオーゴクラブのピシーナに於て練習す。

本日ボンデアスーカル見物の豫定なりしも曇天の爲中止す。江湖武官より晚餐招かる。

二月廿七日(火)

晴、午前十時よりポタフオーゴ・プールにて練習後マリア・レンク嬢と共にボンデ・アスーカルに赴き晝食を同山頂にてなし、午後三時頃ホテルに歸着す。

休息、午後六時半キリスト教青年會の懇請により、同會室内プール(二〇米)に於て遊佐(百米)葉室(百米)エギジビションを行ふ。

又齋藤氏を加へ同會チームとメドレー・リレーを試みる等交歓の目的を達成す。午後七時半より、日本クラブに於て在留民有志歓迎會あり、之に出席し食後三氏を圍んで座談會を催し日本事情水泳に關する質疑應答等を行ふ。

二月廿八日(水)

晴、午前十時半よりポタフオーゴプールにて練習、午齋は嘗て齋藤監督より指導を受け當地一流選手として知らるるカルロス・ヴァスコンセロス邸に招かる、同席上、グローボ紙スポーツ記者も招待せられ居り、齋藤監督に伯國水泳界に對する觀察を求めたるを以て齋藤監督は着伯後最初の意見を發表することとなり大要左の如き觀察意見を發表せり。

「今回日本から當國に到着する迄寄港地毎にプールを訪れて練習を試みたが何れの地に於ても一貫した泳法もなく淋しかったが、當地に上陸後初めて練習した日に私を驚ろかしたのは一般ブラジル人がすっかり水に慣れ切つてゐる點とその泳法には統一された型のある點であつた、特にブラジルを初めて識つた遊佐、葉室兩選手の如きは右泳法が全く日本式なのを見て非常に感激したのであつた。私としても此前に海軍選手を指導した影響が斯くも一般に普及してゐることなど夢にも考へてゐなかつただけに非常に喜しかつた。

何處のプールに行つてみても私が日本から持つて來たのと同型の板があつて盛んに脚の叩打練習をやつてゐる。各種目とも私の教へた泳法がそのまま残つてゐる然し指導者も水泳を試みる者も餘りに原則や型式に忠實でありすぎる感がして伯國水泳界の進歩の爲に一考を要すると思つた。私の残した泳法に何等かの變化は認め得るがそれを基礎にして當地の環境に應じた新泳法を指導者が創造せねばならぬ、原則や型にのみ拘泥してゐるは各個人の持つ天分を伸ばす事は出來ないと思ふ。

次に階程別に觀た處では少年達が大變泳ぎが旨くなつ

たと云ふことである。之はブラジルの指導者が將來の基礎を少年層に建てんとした努力の結果として認めねばならぬ。之は何より良い事であつて今後も一層力を盡して欲しい。それから少女の水泳の發達は見るべきものがある、少しの訓練で立派な選手になれる少女が相當ある。之も是非向上させたいものである最後に一般男子の問題であるが水準は非常に高くなつて居り水泳の普及度が相當なものであることを示してゐる。

選手達を見ても仲々立派な要素があり、努力の如何では世界水泳界に割り込む事は不可能ではない。

之は要するに水泳は少くとも當地ではよく普及もして居り技術的にもよく指導されてゐるが問題は水泳の一般化に併ふ競技にある技術的にレベルが向上し世界の最高水準を目指して闘ふのでなければ水泳が國民的なものとなることは出來ない、そこで選手制度の確立が必要となり、選手の指導が重要となる、制度と指導は一體になつた或目標に向つて進まなければならぬ、記録及最高技術の向上と言ふ問題はその目標が無ければ仲々向上しない、オリンピックがあるから選手も指導員も努力し、一般も水泳を盛んにやるのである。故に常に目標を持ちそれを利用して「レベル」の向上と普及を計らねばならない、伯國水泳界をこの意味で向上せしむるには如何にすべきかと言へば若し私にその指導を一任されるならば今年行はれるであらう。米オリンピックを目標に努力するであらう。その條件としては選手の合同練習を少くとも三ヶ月間行ひ出發前三週間の合宿練習をやる、そして選手が體育學校の如き機關に依つて統制せられ、練習の義務を各個が意識し、國家的感念の下に一致して練習すれば右期間の準備で優勝は出來ないまでも優勝者に對して左程の劣勢は見ずに闘へると信ずる。

現在のブラジル選手の素質を持つてすれば南米記録の更新など難事ではない、要は選手が共同一致の精神を以て練習し得るか又統制機關がその機能を充分に發揮し得るかの二點が重要なのである、この事に付ては海軍選手が南米の覇權を握る事を得たのは一同が嚴しい軍律の下に私の指導を受けたことに起因すると言ふ事を想起して戴きたい。

尙又グローボ記者が「現在貴下をコーチとして招聘したとき意向が當局側にあるが、若し當局がそれを要請した場合貴下は受諾されるか」との質問に對し「統制上の條件が容れられ、東京日日新聞社が私の希望を許してくれるならば喜んで受諾しやう」と答へこのインタービューの概要は翌日のグローボ紙に發表せられ、官民の注目を惹起せり。

二月二十九日(木)

快晴、午前中フルミネンセ・プールに於て練習をなし午後二時よりフルミネンセ現屬水泳選手有志の招待にて

フルコヴァード山チヂユカ方面へドライブす。工藤書記官より招待を受け同氏邸に於ける晩餐後ポルトガル體育クラブ招待エキジビジョンに出席、屋上プールに於ける模範試合後レセプションに臨み、俱樂部幹部並に水泳界有力者と歡談す。

三月一日(金)

快晴、午前中フルミネンセ・プールに於て練習、午後一時體育學校主催日伯交歡後餐會に出席す。主催側校長ロリン少佐に代り同校事務長モレイラ・デ・ソーザ氏桑島大使への感謝並に選手一行への歡迎の辭を述べ大使之に答へらる。午後市内にて買物散歩に時を過す。

午後九時より本年度第十二回リオ水上競技會合同獨泳記録會に出場す。

- (イ) 葉 室 (二百米平泳) 二分三九秒六
- (ロ) 遊 佐 (百米自由型) 五七秒九

三月二日(土)

快晴、午前十時よりヴェラ・クルース中學校に於てエキジビジョンを行ひ、同校生徒をコーチす。午後ポタフオーゴ・プールに於て練習す。夜は正金銀行支店長推木文也氏招待晩餐會に出席す。

三月三日(日)

曇後雨、午前グワナバラ・プール (五〇米、海水) に於て練習す、後四時より伯國少年水上選手權大會に出席エキジビジョンを行ふ。

- (イ) 遊 佐 (百米獨泳) 五八秒七
- (ロ) 葉 室 (二百米獨泳) 二分五〇秒

午後六時フルミネンセ・クラブ主催兩選手歡迎ダンス・パーティーに出席す。午後八時半大阪商船會社佐藤駐在員主催晩餐會 (リード會館) に出席す。

三月四日(月)

快晴、午前十時フルミネンセ所屬選手有志の招請にてガベアゴルフリンクに赴き、ゴルフに興じたる後同所にて午餐を喫し、市内に歸還後齋藤監督を除き一同は更に海上ピクニックを試みる爲ランチにてパケタ島に向ふ。齋藤監督のみは亞國行豫定等に関し打合せの爲大使館に工藤書記官を訪問懇談す。

佐賀縣出身者一行歡迎晩餐會はガヴェア日本園に於て行はる。

三月五日(火)

快晴、午前中フルミネンセ・プールに於て練習、午後一時より桑島大使主催日伯懇親午餐會 (ジョッキークラブ) に出席す。食後ロリン少佐より手違ひの爲ミナス行に支障を出したるも手配中にして或は中止の餘儀なきに至るやも知れざる状態にある旨、話あり、明日ミナス行飛行便の座席が申込遅延の爲取得出来ざりし理由を説明せるを以て萬難を排しても、ペロオリゾンテ市訪問を希望する旨を述べ本夕發列車便に変更せらるゝも支障

無ければ取計らはれ度しと回答、ホテルに於て結果を待つこととす。

午後四時半に至りロリン少佐より電話を以て「飛行機は九日迄、列車も八日迄は座席豫約の見込みたゞず、出發延期不可能の場合はミナス行中止の外無き旨述べ、右手落に關し再三遺憾の意を表し、諒解を求められたるが、齋藤監督は之に對し「聖市向け出發は現在延期不可能に付、ミナス訪問は中止の外無く残念なるも右に依つて、ミナス州官民に誤解を生じ或は體育學校側に何等の不都合を及ぼす如きことありては一行の遺憾とする處なり、この點良く當方の意のある處を御諒解得度し」との意を表明せり。電話に依る會談後接伴員オスワルド教授の來訪あり、同様通告と共に手違ひの原因に關し、左の如く説明ありたり。「體育學校はミナス州政府代表ロッヂ氏の求めに應じて一行のペロオリゾンテ市訪問を決定せるものなるが、當初は三月四日出發に豫定せられ居りたる處、同州水泳界役員はその以前に出席し、三月三日の全國少年選手權大會終了後五日頃歸着のこととなり、日本選手一行が、四日に到着するも接伴困難なるを以て六日午前飛行機にてペロオリゾンテ着、七日デモストレーションを行ひ、五時發飛行機にてリオ市に歸還せしめたしとの申出に基き豫定を変更せるものなるが、當地出發より歸着迄の事務はロッヂ氏が責任を負ふこととなり居りたる爲、學校側としては本日迄安心致し居りたる次第なり。

午後五時フルミネンセ・クラブに赴き同所醫務室にて遊佐・葉室兩氏の體位検査を行つた後プールにて練習す。

三月六日(水)

快晴、午前中フルミネンセ・クラブにて練習し午後二時半ホテルを出發ベトロボリスにドライブを試む。

午後六時リオ歸着、日伯中央協會日本語講座を見學、學生と交歡す。夜九時よりクラブ對抗競泳會に出席せるも本日はエキジビジョンを行はず。

三月七日(木)

快晴、午前中體育學校、大使館、フルミネンセ・クラブ等を歴訪挨拶を述べ佐藤參事官夫妻より送別午餐會に招待を受け出席、午後二時より植物園を見物す。午後六時一行滞在中世話役として通譯・案内其他に盡されたる左の人々と晩餐を共にす。

佐藤健夫、秋山桃水、忽骨谷留光、近澤美雄並に小職文部省幹施により午後八時リオ發急行にて大使館々員、在留民關係者、伯國運動界關係者の見送りを受けサンパウロ市向け出發す。驛頭にてロリン少佐は文部省並に學校を代表して一行の伯國水泳界に與へたる功績を謝し、日伯兩國友好關係がスポーツに依り一層緊密ならんことを希望せられ、齋藤監督は滞在中伯國官民より示された好意を感謝し將來とも伯國水泳界の發達を希望する旨を述べたり。以上

第十四回早慶水上競技大會



横尾清吾

第十四回早慶對抗水上競技大會は本シーズンのトップを承つて期待裡に神宮プールにて舉行、気温二五度水温二四度、シーズン始めとしては絶好の水泳条件で正午入場式競技開始零時三〇分

四百米自由形

- (一) 宮本 茂 (早) 四分五五秒
- (二) 宇田 守 榮 (早) 四分五八秒
- (三) 田中 英 作 (早) 四分五八秒六

慶應陣の總敗退は啞然たるものがあり十二回十三回大會で示した順調な一が一轉して鮮かな早大の全勝を記録した、一般に重々しい泳ぎで汚い水の影響も相當に認められる。即ち戦後宮本君が「途中何處を泳いでゐるか分らぬし又ターン近くになるとその心配で氣をとられ、ラストスパートも何處らで出していゝか位置の判断に困つた」と云つてゐた事は充分考慮してゐる言葉と思はれる、記録的には案外の期待外れに了つたが響を並べた早大陣の全勝は割引さるべきではない、寺田の恢復は充分に期待されてゐたが後半の調子悪く悲運の敗戦を餘儀なくされた、中澤の奮闘はその甲斐なかつたが慶應のため大いに氣を吐く。

二百米平泳

- (一) 田畑 三 郎 (早) 二分五三秒八
- (二) 大林 嗣 生 (早) 二分五五秒四
- (三) 岩崎 桑 郎 (慶) 二分五七秒四

田畑より古川に期待される所多かつたが元氣なく案外の敗退に了つた、田畑前半をじつくりマークして後半頑張り遂に優勝、力に自信がついたら強氣に飛出す元氣も慾しい、たとへその爲め大きい失敗があつても大成のためには却てよからうと思ふが。大林の強いストロークが印象に残る、あと一息の強さが欲しい所新人岩崎、喰ひ下つた武者振りに必死の意氣を示して慶應軍のため貴重な最初の一歩を稼いだ。大林と共にあと一息の強さが欲しい。

百米自由形

- (一) 吉田 喜一 (早) 一分一秒四
- (一) 杉田 芳 郎 (早) 一分二秒六
- (三) 高尾 龍 實 (慶) 一分三秒

兒島は百米背泳に備へて出場せず吉田器用さを示して樂勝、杉田のラストも目立つたが記録としては慾を云ひ度い、高尾、山下、禰津にしる専門外の吉田に樂勝を許す事は案外と稱すべく切に奮起を望み度い、早慶戦の百米自由形が記録的にずつと低調なるは如何した事であらうか六十秒切つたのが第九回の阪上さんの五九秒八だけである、新人のねらつていゝ穴と思はれるが最近の傾向として中等短距離界の雄が揃つてインタカレツヂで伸び上る芽をつまれて停滞してゐる、腐る事はもつての外であるが果してその原因は一體何であるだらうか？

百米背泳

- (一) 吉田 喜一 (早) 一分八秒八
- (二) 兒島 泰 彦 (慶) 一分八秒八
- (三) 中野 太 郎 (早) 一分十三秒

兒島對吉田の宿命の血戦が中學以來七年に亙つて續いてゐる、早慶戦では第十回以來兒島が終始勝つ放しで本年度の一戦も本大會興味の焦點で一時五十分緊張裡にスタート、兒島やゝ固くなり最初のリードを五十ターンで逆に吉田にリードされ吉田調子に乗つてリードを續け七五米邊りから確實に近い僅かの差を持して丁度吉田が兒島に今迄苦杯を嘗めさせられてゐた戦況と逆に吉田の堂々たる勝利となつた、記録としては同記録であるが吉田タツチ悪く〇・二秒乃至〇・四秒位損をしてゐると思はれる、それにしても一分八秒八の記録は好記録と絶讃していい、早慶戦で始めて勝つた吉田の自信と得意を想像すれば逆に悲運に泣く兒島のつらい立場に同情が起り此の二人の宿命的な争ひは全く勝敗なしに記録しておきたいつらい第三者の氣持である。然し今日の水上競技界で精神的に記録的に何が最も充實してゐるかと言へば吉田對兒島それに日大の谷口君を加へ

た背泳陣であると思ふ。この三君が眞摯な、決死的の努力を勝つ事に傾倒してゐるその過程がかくも見事に又堂々と指一本觸れさせぬ水の王座に毅然と君臨してゐるのである。

中野が目立たぬ乍らも十三秒臺迄擡頭して來てゐる。

二百米自由形

(一) 宮本 茂 (早) 二分十七秒六

(二) 中澤 脩 (慶) 二分二〇秒四

(三) 杉田 芳郎 (早) 二分二一秒六

宮本百ラツプ一分四秒六、やゝ重い泳ぎではあつたが既に確實な力がついて了つたのであるから今後共眞摯な努力と自重を相變らず持し續て貰ひ度と思ふ。水泳選手の持つべき風格地味なれど強剛無比近くは小野主將、兒島吉田兩兄及び小池高橋兄當りの早慶独自の持味をしみ通して貰ひたいと願ふばかり。中澤はよく戦つたと絶讃する外はない殊に後半の涙ぐましき奮闘振りは猛烈なラストスパート共に今も鮮かに目に残つてゐる。杉田も漸く待望の芽が出て來たが記録としては百米自由形と共にあと一息と云ふ所。

千五百米自由形

(一) 宇田 守榮 (早) 二十分八秒六

(二) 田中 英作 (早) 二十分十五秒六

(三) 片山 崇 (慶) 二十分十七秒六

四百米自由形との時と反對に宇田最初より飛出してリードを續ける、宇田が強くなるためには少々失敗してもいゝから飛出す意氣にあると昨年以來思ひ續けて來たが、むづかしい長距離にあつては餘程の自信と練習がなければ望めないだらう、その點今年の宇田には二つ乍ら完全に行つたものと思はれるので何よりも喜びとし度い。田中は肩の痛みが抜けぬ故か調子出ず僅かにラストにみせた鮮かなスプリン

トに偉材の片鱗を示す、片山は病後の故で悲壯、田中によく喰ひついたが刀折れ矢盡き果て、惜敗に終つた。

八百米繼泳

(一) 早大 (宮本、杉田、田中、吉田) 九分十五秒

(二) 慶大 (中澤、島本、寺田、片山) 九分三九秒六
十四回も重ねた早慶戦の最も誇るべきものは雌伏十二年血涙をにじませてかちえた慶應勝利の記録にあると思ふ。慶應は近き將來に再び打倒早大を實現するだらうし早大又慶應の挑戦を永久に無視すべく努力するであらうかくて一年一年と歴史の環は即ち勝つか負けるか運命の明暗が學生競技獨得の意氣と感激の昂揚を以て過去現在而して未來へと結びつけられるその意味に於て低調と思はれた本年度の競技も輝しき未來への踏み臺としてみる時無意義と解すべきではない、否表面に現れない精神的の收穫が來年又再來年……に於て如何に現れてくるか、それが現れてくる限りに於て本年度の一戦こそ最も意義あり又高調なものであると云へるだらう。元來早慶は日本独自の學生スポーツとスポーツ精神のリーダーとして輝かしき歴史と傳統とを有して居る。水上競技受難の年に於ては特に學生が學生自身を取戻す事に本當に強い水泳日本を築く事ができやう、オリンピックや外國遠征の有る無しでなく平常心是心と云ふ様な自覺の下にあるスポーツマンこそ始めてこの水上日本を背負ひ得るだらう。それには學生自身の立場から出發する事にあり學生本來の純心さを取戻し、そこから再出發する時記録は自ら向上せざるをえないだらう、かくてこそ本當に強い水泳日本を構成する事ができやう。見渡す限り水上日本の低調寒心すべきもの多々ある中敢て重責を負す所似他意なし願はくば諒とされ度い。

奉 祝 二 千 六 百 年 記 念

琵琶湖團體長距離競泳全國大會

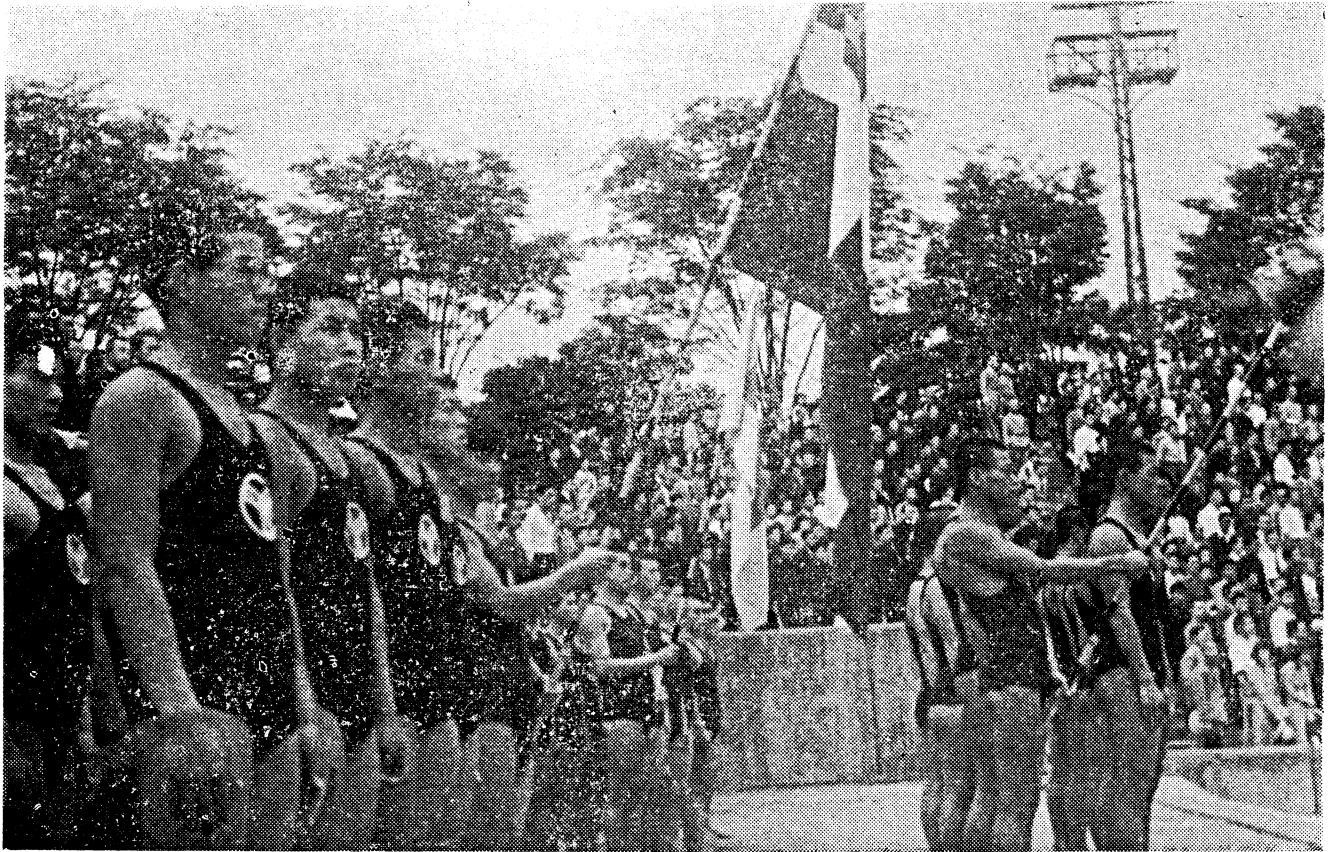
期 日 昭和十五年七月二十八日

場 所 滋賀縣琵琶湖上堅田浮御堂——大津市柳ヶ崎間十軒

主 催 大津市、京都水上競技聯盟

後 援 厚生省、日本水上競技聯盟、舞鶴鎮守府、第十六師團、京都府、京都市、滋賀縣

申込所 京都市上京區小山北上總町四ノ三、小泉丞方、京都水上聯盟



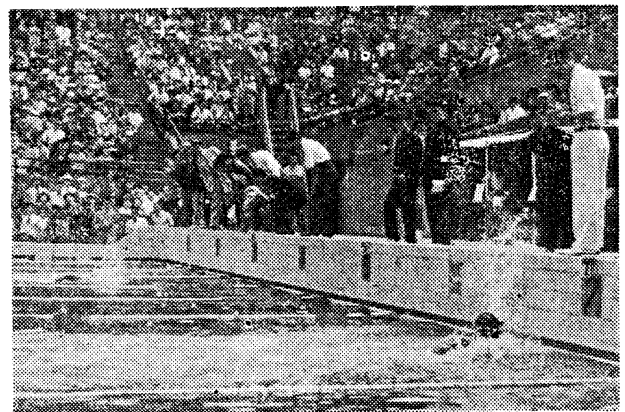
三大學對抗水上競技

白山源三郎

六月の初に行はれる早慶戦、日、立、明の三大學戦の兩水泳大會は冬中永らく閉られて居た水上競技の幕が久々で昇げられ、吾等の選手諸君が久々で力泳すると云もので、一種の楽しみを以て迎える大會である。對抗戦の興味の外に、果して吾等の選手諸君が健在であるか誰が卒業して退き、誰が新たに加はつて如何なる力量を示すか、更に進んでは此三大學に殆ど、我第一線選手が集つて居るのであるから、我日本水泳陣の本年の歸趨は如何であるか、之等が判るものとして深い關心を以て覗き見ねばならん大會である。早慶戦に何となく一抹の淋しさを感じた後を受けて三大學戦も全體の氣分としては高度の緊張を見ることが出来なかつたのは事實である。オリンピックがあるべき年廻りになつて居ながらない事が原因であることは否み難い所であつて、之は止むを得ない事である。小言を云ふ前に寧ろ同情したい。四方八方から低調だ、不振だと酷評をたいきつけられる有様を見て筆者は寧ろ選手が可愛想でならない。感受性の強い青年にそれだけの刺戟を與えずに

それだけの緊張だけを求める方が無理である。

私はよくよく考へて見て先づ之ならよしと云ふ結論に達し、選手を祝福し、信賴の念を抱き得た、と云ふのは全體として見て確かにオリンピックイヤーに於ける選手としては氣抜けがしてゐる様であり、低調とも云へる、然し、オリンピックがあれば、氣分の引締めだけでいつものオリンピックイヤーに於ける力量位は出し得る程度の所に居ると云へる。第



300米メドレーリレーに於けるゴール、7コース立大、3コース日大

一線選手達が最後の奮張りで直ちに世界制覇戦に出るに十分な力を具へ得る素地を少しも失つて居ない刺戟がないからその奮張りが出来ないだけで、あれば必ず其力量を出し得ると思つた。矢鱈に小言を云ふのは當らない。唯之以下に下つてはいけなと云ふ事だけは云へる。

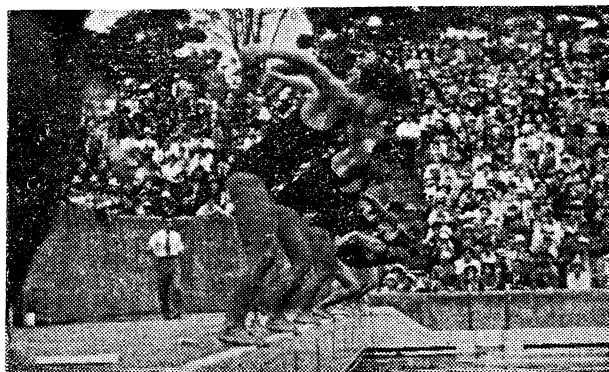
之を數字的に見る爲昨年度の本大會と比較すると面白い、こゝに昨年度の三着迄と、本年度の三着迄とをタイムで比較し、對抗競技の如く配列して採點し、本年と昨年との優劣を定めて見る。註(昨)は昨年(本)本年



百、二百米短距離新井選手(立大)の力泳

百 米 自 由 形

1 (本)	新	井(立)	59.8
2 (昨)	佐	々木(日)	1:00.2
3 (本)	佐	々木(日)	1:01.2
4 (本)	本	田(立)	1:01.6
5 (昨)	鷺	谷(日)	1:02.6
6 (昨)	大	崎(立)	1:02.8
得 點			本年 14點 昨年 8點



二百米自由形のスタート

二 百 米 自 由 形

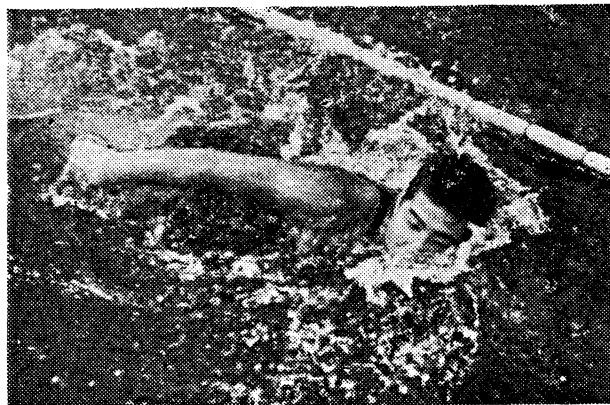
1 (本)	新	井(立)	2:14.8
2 (昨)	佐	々木(日)	2:17.6
3 (昨)	鶴	藤(立)	2:17.8
4 (本)	佐	々木(日)	2:18.8
5 (本)	本	田(立)	2:21.2
5 (昨)	馬	場(日)	2:21.2
得 點			本年 11點半 昨年 10點半



四百米本間選手(立大)の最後のターン

四 百 米 自 由 形

1 (本)	本	間(立)	4:54.0
2 (昨)	天	野(日)	4:55.4
3 (本)	天	野(日)	4:56.8
4 (本)	津	田(日)	4:57.4
5 (昨)	栗	原(日)	4:58.6
6 (昨)	越	戸(日)	5:00.0
得 點			本年 14點 昨年 8點



長距離陣の新人津田選手(日大)の力泳

八 百 米 自 由 形

1 (本)	津	田(日)	10:14.6
-------	---	------	---------

2 (本)	天野(日)	10:19.4
3 (本)	本間(立)	10:24.8
4 (昨)	天野(日)	10:25.8
5 (昨)	栗原(日)	10:28.4
6 (昨)	本間(立)	10:31.6
得点	本年 16点 昨年 6点	



百米背泳谷口選手(日大)の力泳

百 米 背 泳		
1 (本)	谷口(日)	1:09.8
2 (昨)	谷口(日)	1:10.2
3 (昨)	平賀(立)	1:11.8
4 (昨)	河野(日)	1:13.0
5 (本)	河野(日)	1:13.2
6 (本)	大野木(明)	1:14.2
得点	昨年 12点 本年 10点	



二百米平泳大浦選手(立大)の力泳

二 百 米 平 泳		
1 (昨)	葉室(日)	2:42.8
2 (本)	大浦(立)	2:46.4

3 (昨)	大浦(立)	2:46.8
4 (昨)	野田(明)	2:48.2
5 (本)	吉村(日)	2:51.0
6 (本)	田口(日)	2:55.0
得点	昨年 14点 本年 8点	

八 百 米 繼 泳

1 (昨)	日大	9:13.8
2 (本)	立教	9:15.4
3 (昨)	日大	9:24.6
得点	昨年 6点 本年 3点	

三 百 米 混 繼 泳

1 (昨)	日大	3:22.4
2 (本)	立教	3:27.0
3 (本)	日大	3:28.0
得点	昨年 5点 本年 4点	

得点合計 昨年 69点半 本年 80点半

右の通りの結果となる、統計的に見ると本年の方が實力増強の跡が現はれて居るのである。決して落ちて居ない事が判るのである。

之を個別的に觀察して見ると、葉室、野田の退陣で平泳が弱くなつたが、100、200で昨年出場しなかつた新井と新人津田が之を充分補つた事になる。佐佐木、天野(400のみ)河野極少し油断が見えるが、本間、天野(800に於て)谷口、大浦等進境を見せた人は多い、差引いた所、結果は本年のペラスである。繰返し云ふが左程悪くない。唯之以下に下つては大試合に制覇の爲の躍進が望まれなくなることを忘れてはならない。そしてイザ鎌倉の時に力を出し得る素地を倍々養つて置かねばならん、即ち現在の記録は悠々と出ると云ふ實力が必要である。それで充分である。現在位の記録がヤツトの事では出て居ると云ふのなら甚だ心細い。

對抗戦としての觀點からは日大の陣營強化の爲、優勝は殆ど確定的であつたが立教は健闘、よく之を追及したし、殊に永く不振の明大陳に野田を失ひ乍らも復興の顯著なものがあり心持よい事であつた。更に更に奮闘を祈る。

× × ×



學童の見たインターカレヂ

(第八峽田小學校 中 永 義 弘)

昨年のインターカレヂに海洋少年團の子供を引率して参り、始めて経験したあの喜びに對して心からの感謝を持って居ります。彼等は一夏を私の下手なクロールによつて叩き上げられ、他の先進校の兒童とは比較にならう筈もありませんが、泳法の率直な體得と意氣とだけは私も驚く程で御座いました。昨年新設されたプールで初めて泳ぎを覚え、九月初めの校内大會には五年生を破り六年生を最後迄追つめて手に汗を握らせました「來年は神宮で東京の小學生を抑へるんだ」と當るべからざるものが御座います。

世界的選手を網羅したあの大會を見て彼等が何を感じ、何を得たかは明確に知る由も有りませんが、驚異と感嘆の斷片的な言辭の端々に仄見える語氣こそは、彼等の將來をほゞえましいものに彩つて居るやうです。綴方の時間に日曜日の水泳大會の事を書き度いと云ふので書かせて見たのが此綴方です。御讀みになつてきつと御噴出しになるだらふと思ひますが、飾らない純眞さだけを汲取つてやつて下されば幸甚です。

水 泳 大 會 第四學年二組 松 本 俊 延

一昨日水泳を見に行つた。先生が見よい所へいつて「コースは新井といふ人だ。新井とふ人は世界きろくをつくつた人だからきつと一ばんになるよ。」と先生がおつしやつた。僕は心の中で僕も新井といふ人みたいに早く泳が上手にならないかなと思つた。終

天 野 様 へ 第四學年二組 松 本 俊 延

天野君は八百米のきやうそやうで一ばんをとつてうれしいですか。僕は來年もしかすると大會に出るかも知れません。僕も大會に出たら天野君見たいに一ばんをとれば、家中みんなにほめられてほうびをもらへと思ふと、冬も泳ぎたくてたまらなくてふるへはいつでも泳いで居ます。終

水 え る 第四學年二組 大 久 保 喜 庸

この間の大會は雨があんまり降らないでよう御ざいました。僕等も一番よいせきへ入っていたいでよく見物ができましたのは、まことにうれしく思ひます。どうか又、來年も見せていただきます。

お體を大切に、さやうなら。

水 え る 第四學年二組 大 久 保 喜 庸

向ふへ行つたら人が大ぜい並んで居た。先生が「そこでまつてろ」といつた。僕たちは、そこでみんなすわつてまつてみた。すると、先生がみんなこいといつた。僕たちに先生は、そこに並べ、といつた。かいだんを上つて水えりを見た。

體を大切に、さやうなら。

水 泳 大 會 第四學年二組 折 原 弘

九月十七日の日曜日、僕と、大久保君と、外七名は、先

生につれられて、明治神宮外苑へ、日本學生水泳大會を見に行きました。水泳場の入口には、大ぜいならんで居たので、とてもはいれないやうでした。先生のお友だちが、皆をととも、よい場所へ入れて下さつたので僕はうれしかつた。せんしゆは飛びこむと、二十五米ぐらひもぐつたまま泳ぐので、僕はびつくりしました。葉むろせんしゆとても早くて二番目の人と、とてもはなれて勝ちましたので、僕もあんなに上手になつたらよいと思ひました。

水 泳 第四學年二組 折 原 弘

日曜日の水泳大會にはあんなよい場所へ入れて下さつて、ありがたうございます。僕ははじめて入つたので中の廣いのにおどろきました。前の方だつたので飛びこむ時も、泳ぐ時もとてもよく見られました。天野せんしゆはとても早いのでびつくりした。

水 泳 大 會 張 宗 七

拜啓 さる九月十七日の、水泳はおもしろうございました。八百米のきようさは、一ちやくの人は、嚙くたびれるだらうと、僕は、ひやひやして居ましたが、くたびれた顔もしないで、勇氣堂々としておよいだのはまことにえらいとほくはかんしんしました。水泳が終つて、でんしやにのらうとしましたが、いつばいでのれませんでした。二だいがようやくのれました。學校へかへつて、みんなに話してやるとよろこんでました。九月の水泳ありがたうございました。さやうなら

張より

水 泳 大 會 第四學年二組 張 宗 七

九月十七日大日本水泳大かいはまことにすばらしく、まことにりつばな水泳にほくはびつくりしました。十米か二

十米ぐらいな高さからよく目を廻さないで、よく、とびこめたものだ、ぼくはかんしてましたが、八百米のやうに長いところを、みんなは泳げないだらうとちうで沈みはせぬかとぼくは胸を鳴らしてゐましたが、つかれた顔もしないで平氣でおよいでゐるのでびつくりしました。一ばんあとで二百米とそのリレイはまことにりつばなのにおどろきました。

大 泳 大 會 第四學年一組 市 川 文 大

このあいだは水泳をみせてもらつてありがとうございます。僕は第八學校の海洋少年だんです。僕はなつやすみ中に中永先生に水泳をおしへてもらつて今では水泳はうんと上手になりました。なつやすみの終に水泳の大會があつたときに四年五年六年の水泳の大會がありました。ぼくのくみの狩野君は一等でした。僕はうれしくてたまりませんでした。そして終には萬歳をしてかへりました。さようなら

水 泳 大 會 第四學年一組 市 川 文 大

せんじつは水泳を、みせてくださった、神宮プールへ、みにいつてほんとは五十錢とられるのにただでつれて行つてもらふのは、まつたく心からうれしい。中にはいつてみてゐるうちにラヂオで放送をしたから、なんだらうと思つてじつとしてゐますと、これから百米のクロールをしますとラヂオでは放送をしました。さうすると名前をいつた人だけみました。中永先生が早大がかつかもかもしれないといつてみてゐたら早大は三等でした先生はわせたの人の名前を知つてゐると云ひました。終ひまで應援してをわりまでみてゐました。來年はまた見に行きますからよろしくまつてゐて下さい。さようなら

水 泳 大 會 第四學年一組 狩 野 甫

このあいだは、水泳をみせてもらつてありがとうございます。僕は第八學校の海洋少年だんです。僕はなつやすみちゆう先生に水泳をおしへてもらひました。それからは僕は選手になりました。おしまひになつたとき一時から水泳大會がありました。四年ぜんたいで競走したとき僕が一着でした。そのまへで先生や六年や五年のなかで僕がそのなかにゐました。さいごのとき五年六年とたゝかつて五年六年をまかしました。先生にほめられました。そして家へか

へつて話したらごほうびに色チョークをかつてもらひました。さようなら

おもしろかつたこと

第四學年一組 狩 野 甫

行つたとき競走をしました。一とう二とう三とうまででした。僕はぢつとみてゐました。水がのみたかつたのでさがしにいきました。あつたとみんなに言ひました。するとみんなあがつてきてのみました。こんどみたらわせたがかちました。そのつぎが日本大學がかちました。いろいろみてゐてキヤラメルをかひにいきました。かつてから先生にあげました。水泳ををしへてまもつて、まいにはけいおうがかちました。それからかつぶをもらふところをかへりました。

水泳大會を見にいつたこと

第四學年一組 折 原 一 男

九月十七日の日曜日に中永先生と私たちで明治神宮の水泳大會を見に行きました。中永先生は一生けんめいおうえんしています。始は五十米クロールです。ラヂオは一生けんめいではうそうしてゐます。飛びこんだかともう半分ごろまで来てしまいます。私は、あつけに取られてしまひました。ラヂオは一等何々君二等何々君と、はうそうしています。三等は二十八びようです。つぎは、背泳です。するとうしろの方でときやうな聲を出しておうえんしたのでみんなどつと笑つた。いよいよすたあとです。六コースの人は、一生けんめい足をもんでゐます。用意の聲が出ました。ピストルがなると、どろぢに飛びこみました。五コース一着です、二十五米三十米と泳ぐとその時六コースが、ものすごいスピードで五コースにおいつきました。私は思はず負るなど、さげんだ、五コースは又元氣を出して六コースをぬいた。みんなわ、わーとそうだちになつた。五コースはようやつと一等になつた。つぎは二百米ひら泳です。葉室君しつかりとおうえんした。この一等は葉室君でなかつた。二等が葉室君でした。次のくろうる八百米は天野君が一等です。まだ一ぱいありました。それも皆な見て、かへりました。神宮プールを出た時は少し、くらくなつていた。

國民皆泳國の日本人として水泳に關する限り必づ皆様の備ふべき書です。

水 泳 讀 本 定 價 30 錢 也

發 行 所 東京市神田區一ノ七 小學出版社
發 賣 所 東京堂・東海堂・北隆館・大東館・照林堂・
淺見文林堂・大阪屋號・三省堂・井田書店

壯 烈 殊 勳 の 拔 手

前略 今回前當校幹事野副少將閣下より同封短篇を送附し來たり閣下に御参考の爲供覽水泳奨励の一美談として水泳機關紙に轉載し下されば幸甚なりと來信有之候間宜しく御取計相成度願上候
先は要件のみ時局多端の候御自愛を祈上候

戸山學校教授 森 少 佐

〇〇部隊は今嘉善の敵陣地に殺到していた。〇〇隊の豫備隊であつた〇〇小隊は雨あがりの沼田を泥まみれになつて猛烈な敵の銃火を浴びながら眞一文字に敵の右側背に肉迫して行つたが敵も今は死物狂ひであつた。

クリークにさえぎられて部隊の前途は愈々困難になつた。敵陣を目前に見て空しい時は流れて行つたが、戦況は依然膠著したまゝ動かなかつた。

八方に渡河點搜索の斥候が飛んだが何の手掛りもなく空しく引返して來た。橋もなければ渡るべき舟もなく、何一つの架橋材料になりそうなものさえ附近には見當らなかつた。

こゝぞとばかり敵は益々激しく射つて來る。向ふ岸の支那民家に銃口をのぞかせた敵の重機は今にも燃え上らん許りに火を吐いている。幅二十米のクリークの水は銃聲にふるえて濁音をたてゝいる

間斷なく敵のチェコ機銃が吼へる、横なぐりに銃弾が掠める。小隊長は傷き勇士は次々に倒れて行つた。

「此の儘では敵を目前にし乍ら部隊は空しく全滅するより外はない」

小隊長は血眼になつて叫んだ。

「誰か、誰か、クリークを泳ぎ渡つてあの家にあの重機を射つている家に火をつけて來る者はないか！」

(今はせめて敵に一矢を報ひて全滅する許りだ)

隊長の悲壯な決意であつた。

敵の物凄く銃火の中に一秒、二秒、三秒、恐ろしい沈黙が續いた。勇士達は唾を呑んで顔を見合せた。

(死は覺悟の前だ……が對岸に泳ぎつかぬ前にやられては死んでも死に切れない……然も對岸に泳ぎ渡らぬ中にやられることは火を見るよりも明かだ)

勇士達が顔を見合せて沈黙した理由はそこにあつた。

「しまった！」とその沈黙を破つて悲痛な最後の唸り聲が勇士達の魂を突き刺した。

「うぬ！よくもやりやがつたな」

血を吐いて轉倒した戦友の姿に奮然と突立つたのはそれ迄一言も言はず唯黙々と敵陣を見つめていた工藤一等兵であつた。彼はいきなり装具をはずすが早い、服を投げて眞裸かになつて、彼はマッチを口にくわへたと見る間にザブンとクリークの中に身を躍らせた。雨あがりの濁り切つたクリークの水が白い飛沫をあげて花びらの様に飛び散つた。不眠不休の攻撃を續けて來た疲れも物かは、彼は拔き手を切つてグングン對岸目がけて突き進んで行く。〇〇隊長の目がす

いつけられたように彼の上に注がれて動かない。

「南無阿彌陀佛」「南無阿彌陀佛」

戦友の聲がカスレカスレに聞える。

敵の銃火が一齊に裸の勇士に集中した。

無数の水柱が拔手を切つてグングン泳いで行く工藤一等兵の身邊を押し包んだ。

「あつ！危い！」

「やられたか？」

戦友達はハラハラして手に汗を握っている。

「南無阿彌陀佛」「南無阿彌陀佛」

思はず洩れる戦友の祈りの聲が次第に擴がって行つた。

一等兵は遂に泳ぎ切つた。いきなり向ふ岸に躍り上つたかと思ふと彼はまつしぐらに重機の家に向つて駆け出した。

彼の後姿が瞬間戦友達の視線から消えた。

三秒、五秒、十秒

「工藤は何處だ！」

「まだ見えぬか！」

「やられたか？」

戦友達の呼吸は激しくなつて行つた。

隊長の唇には血がにじみ、顔は土色に變つてゐる。息苦しい迄の不安が次第に盛り上つて行つた。

一分!!

二分!!と敵の重機の家の軒下から眞白い煙がムクムクと雲を巻いて壁を這ひ上つた。

「出かしたぞ工藤!!」

蒼白な隊長の顔は見る見る血の色を取戻した。火の手は早くも軒を廻つて、煙は見る間に家を取巻いてしまつた。その中からチヨロチヨロと赤い舌を出して火は壁をなめ出した。

がどうしたことか何時迄待つても工藤一等兵の姿は見えなかつた。屋根瓦が落ち初めても一等兵の姿は見えない。

「工藤！どうした？」

「工藤！工藤！」

戦友達は聲を限りに呼んで見たが返事はなかつた。

「やられたんだ！」

その時だ、眞黒い煙の塊がぐわつとクリークの中に顛落し戦友達の視線がまだそこに定まらぬ中に、工藤一等兵はクリークの中程に悠然と浮き上つていた。

彼はにつこり笑つて右手を挙げた。

渦巻く黒煙の中に逃げ惑ふ二百の敵が我一齊射にあつて全滅したのはそれから間もなくのことであつた。

國民皆

〜静浦小學校の巻〜

昭和十四年度日本水泳界に於て静浦小學校は全国的にその存在を明かにした。即ち競泳に於ては、日本水上競技聯盟の「小學校兒童水泳十優」中に尋常科男子に於ては十人、高等科男子に於ては十三人を「ランキング」され、共に全

國最優校として表彰された。又日本水上競泳聯盟主催の熱海初島間十軒團體長距離競泳に、海軍チーム大學チームその他の強豪に伍して唯一の小學校チームとして出場し、堂々A組は第十四着三時間十二分B組は第十五着三時間十四分で泳破し、その天晴れな泳力と精神力は賞讃的となつた。同校は水泳を以て體育德育の基本とし、「全校男女生徒にして泳げざる者無し」を目標とし、しかもその目的を達して居る。現に競泳部選手と遠泳を主とする水泳部とは全く違つた存在で熱海の遠泳に出た者は競泳部選手ではない。こんなに水泳が普及發達して居る特殊な學校は全國に類が少ないと思ふ。

此の隆盛を來した原因に就て検討して見やう。

第一に地の利を得て居る事である。世間的に海水浴場として識られて居る静浦の海岸が學校の前にある。波は静かだし海岸は砂濱で危険がなく水泳には好適である。

第二に組織的背景を持つて居る事である。此の仕事は相當費用を要する。例へば毎日の傭船料など可なりの額になるが、全費用の大部分を静浦游泳協會から補助されて居る。

第三に周圍の環境のよい事である。由來静岡縣は水泳熱の盛んな所で、殊に此の地が静浦游泳協會の發祥地であり、父兄も危険感を持たずに兒童の水泳を奨励する。一方静浦游泳協會、漁業組合その他の團體からの物質的精神的援助は絶對のものである。

第四に毎年開催される水泳講習會による普及である。講習會は相當強い練習をするが未だ一度も事故を起さず、兒童の健康上にも德育上にも良結果をもたらし乍ら水泳普及の大きな役割をして來た。

第五に關係者の献身的努力である。校長初め學校



泳所見

日本水上競技聯盟評議員 齋藤 亭

静浦小學校訓導 一杉 和一

同 中村 哲夫

職員の熱心さが直接今日の基礎を築いたものである。その他講師助手諸君の指導に至つては茲に記す必要のない偉大なる功績である。

日本水上競技聯盟がその指導精神をして「國民皆泳」を提唱し、文部省その他の團體がこれに唱和して本運動が漸やく盛大になつた今日、本校の如きは最も範とするに足るものと考へ、同校の一杉、中村兩訓導からその内容を聞く事にした。必ず斯界の貴重なる參考資料となる事を信ずる。茲にお断はりして置き度い事は、兩君の原稿中には種々有益なる圖表や、繊細なる水泳情景の描寫などがあつたが、紙面の關係上筆者の一存で割愛した個所が多い。兩君に深謝する、(齋藤稿)

静浦小學校水泳部概観

静浦小學校訓導 一杉 和一

静浦小學校の水泳練習が全国的に特殊のものであり、この全校生徒を對照とする點に於て所謂國民皆泳の理想的施設であると思ふ。茲にその大要を記述して識者の批判を得度いと思ふ。少しでも世の參考になれば幸甚である。先にお断はりして置くのは、我校の競泳部なるものはこれから述べる水泳練習とは全く關係のない、獨立した存在であるから他の人の報告にゆづる事とする。

(一) 水泳講習の沿革

本校水泳練習の目的とする所は、心身の鍛鍊と漁村皆泳とであるが、その歴史を顧みると開始されたのは大正十二年の事で、今から十八年前の事である。當時静浦游泳協會長西郷從徳侯爵が、漁民の水泳が全く自己流で有事の際に役に立たない事を心痛され先づ將來の指導者養成を計畫されたのが今日の隆盛を見るに至つた第一歩である。その頃學習院の水泳講師であつた故小堀平七先生を聘して、第一回の水泳講習會を開催した。その時の講習生は主として漁村青年で小學生は少なかつた。それから毎年開催して昭和十四年で十七回になる。その間時代の波は漁

村にも流れ込んで、大部分が漁業に従事して居つた青年が年と共に殷賑工業部門に轉じて行き、講習會も小學兒童を對照とする事になり、二三年後には講習生は全部小學兒童となり、男女青年團員は技能優秀な者が助手として參加する程度となり、昭和十四年からはその助手も遂に小學兒童の優秀な者から任命して立派な成績を擧げ得るに至つて居る。講習會の仕事も、近來は靜浦游泳協會から補助を受ける程度で學校中心にやつて居る。

講習會修業生の數も逐年増加し開始以來總計八千七百四十名に達して居る。毎年の修業生は下記の通りでこの數によつて靜浦水泳發達の概況を知る事が出来る。

大正12年	30名
" 13年	80名
" 14年	110名
" 15年	180名
昭和2年	200名
" 3年	230名
" 4年	260名
" 5年	740名
" 6年	730名
" 7年	740名
" 8年	740名
" 9年	780名
" 10年	730名
" 11年	790名
" 12年	760名
" 13年	790名
" 14年	850名

(二) 講習生の人選

健康な尋常五年以上の男女生徒を全部參加させるのを原則とするが、本校の水泳練習は他の學校と違ひ、海洋上遠く泳ぎ出し過劇な訓練をするので相當な注意を要するので、講習會開始前校醫の檢診を受けて下記の三組に分ける。

一、游泳班

健康な者全部がこれに參加する即ち本當の意味での本講習會の目的とする對照である。

二、水際班

身體虛弱な者、呼吸器心臟等に障礙ある者、慢性中耳炎患者、重症トラコーマ患者等が之れに入り、先生監督の下に水際で所謂海水浴や砂浴をやる。主

として健康増進を目的とするが講習中調子のよい者は游泳組に轉回する。

三、外氣班

水中に入る事の出来ない健康状態の者は、海岸で先生監督の下に日光浴をする。此の班は極めて少數である。

昭和十四年度に於ける尋常五年以上在籍兒童數と講習生數を比較すると下記の通りで、その百分率は九九・二%に達する。

	男	女	計
在籍兒童數	四四〇	四三九	八七九
講習生數	四二七	四三四	八六一

(三) 水泳講習會實施大要

講習期間は例年七月一日から二十日頃迄で、その間日曜日を除いて十六七日になる。此の間學校は授業を年前中で終り午後から開始する。

場所は學校前の海岸であるので、時間的にも經濟的にも地の利を得て居る。

講習泳法は遠距離を泳破する事を目的とする爲め、小堀流の基本泳法である平泳のみを教へ、御前泳ぎは修業生に稀に教へる丈けである。故に講習生の階級も平泳の型と泳破距離時間に依つて決定して居る。講師は小堀先生逝去の後には岩崎彦左工衛氏を主任講師とし、學校職員四十余名全部參加し、助手として優秀な男女上級生中から若干を任用する。

海岸に於ける設備及び準備として、最も重要なのは水泳指導と救助に必要な漁船の準備である。毎日必要に應じて十數隻の船頭付きの漁船が用意される。講習が段々進んで澤山の班が沖へ出る様になると、その班毎に先生が監督に乗り込んだ舟が付き添つて居る。こうなると多數の舟が必要になる。その他海岸の救護所天幕、救急藥材料の用意、救助竿、メガホン、旗等は必要な品々だ。

講習生の階級は男女共に次の如く七級に分けてある。(女子は帽子の代りに三角巾を用ふ)

級	標識	游泳時間
一	白帽黒線一本	小堀流平泳にて二時間以上泳ぎ得る者
二	白帽	一時間以半以上
三	黒帽	一時間以上
四	"	同上速度稍遅き者
五	赤帽	四十分以下

六 " " 僅かに泳ぎ得る者
 七 " " 全然浮かざる者
 生れ落ちてから濱を唯一の遊び場として居る此の学校の生徒には、全然浮かないと言ふ者は殆んど無いが稀には水を怖れて浮かない子供がある。

第八段階 任務游泳。目的地又は時間を定めて添船上の指揮者一任で練習する。
 入水後十分間で上陸を報せる赤旗が立ち、續いて體操施行を命令する黄旗があがる。約十分間休憩した後再び入水し白班が上陸する迄一時間位休憩なし

講習第一日現在数					講習最終日現在数			
	白	黒	赤	水際班	白	黒	赤	水際班
男	九五	一〇三	一五七	八六	二六五	七八	五〇	四〇
女	九七	四〇	一八三	八八	二一〇	九九	五九	四八
計	一九二	一四三	三四〇	一七四	四七五	一七七	一〇九	八八

次に講習會の成績に就て述べると昨年度講習會第一日に一時間以上泳げる者(白黒組)が三三五名だけたものが、講習會最終日には六五二名になつた。これを在籍兒童數に比較して見ると七四・二%に當る。

第一日の赤と云ふのは固體游泳の心得の無い新しい講習生で五年が大多數である。

(四) 游泳指導情況

七月一日から授業は午前中五時限を終了し、晝食掃除を済ませて午後サイレンと共に衣類を机の上に整頓し、男生は水褌に班別帽子、女生は水着に班別三角巾の服装で運動場に集合、直ちに準備運動を終りて五十米を隔てない海岸の指定の位置に就く。此の時劉曉たる喇叭の合圖あり、本日も又一日水中無難ならん事を洋上遙かの大瀬明神に祈願する。之は裸になると浮き立ち易い兒童の心を鎮め、無事故ならしめる爲めに大きな役割をして居る。續いて人員點呼次で入水を報せる白旗が布島にあがる。

指導は大體次の順序によつて行ふ。

- 第一段階 五級以下の赤帽に對して陸上で脚を持つて型の指導をする。
- 第二段階 手の届く深さの所で脚の練習をする。
- 第三段階 胸の深さの所に設けた竹の束に掴まつて脚の練習をする。
- 第四段階 胸の深さの所を海岸に沿つて一列になり何回も泳ぐ。
- 第五段階 浅い所に漁船を繫船してその周圍を回遊する。
- 第六段階 二列又は三列で第四・五段階の練習をする。
- 第七段階 船が附添つて少し沖に出て三列縦隊で游泳する。

に續行する。やがて歸校を知らせる黒旗、嚴重な人員點呼があり、今日も亦無事であつた事を會長西郷侯爵に知らず遙拜を終つて解散する。

指導の方針を固體游泳、海洋泳破に置いて居るが沖へ出る白組は各班の人員を三十名限度とし、職員一名助手五名手船一艘(船頭一名)附添ひ二三百米の沖へ出て一定時間游泳し或は距離を定めて泳がせる駿河灣内と云つても時として逆潮に會し流されて泳ぎ歸る事の出来ない事もあるから、全員を船に收容出来る様に配船してある。靜浦の海は平常殆んど波がないが、少し位な浪なら反つて鍛鍊に好都合であるから荒天でない限り決行して居る。三列縦隊とした理由は船の長さを考へ監督指導し易い爲めで、二列では長過ぎて隊列の亂れた際危険が伴ひ易い。横の間隔は助手が入れる程度とし、縦の間隔は前泳者の足にふれない程度に入水の際最後を泳ぐ助手が指揮をする。初心者殊に女子は自然と一ヶ所に集まり易く、その爲めに水を呑んで乗船する者が多い。最初の五分間隊形が整つて居れば、その後は先づ大丈夫である。途中指揮者が特に注意するのは隊伍間隔の整頓速力靜肅である。沖へ出ると心細くなり初心者程無駄口が多く疲勞も大になる。游泳中は一切口をきかせない事にしてある。速力は練習中漸次上げて行き途中給食は一切やらない。游泳の時も同様である。本講習會終了後、熱海初島間十軒團體長距離競泳出場の爲め、體格泳法共に優秀な生徒十名を選抜して引續き特別訓練をした。故に出場選手も競泳部選手とは全然別な者である。

(五) 遠泳大會

游泳練習最終日は遠泳大會を舉行して講習會の總決算をする。参加人員も累年増加し、初めて女子を加えた昭和二年には男子約八十五名、女子十名に過

ぎなかつたが、昭和十四年には男子三百名女子二百八十五名の盛況を見るに至つた。泳團の本隊は男女各々泳力により數班に分ち、例年牛臥口野間六軒の海上を泳破するのであるが、その他の年少者は西郷島布島間、牛臥布島間、牛臥江ノ浦間等二軒乃至四軒のコースを泳ぐ。多數が一時に泳ぐのだから準備も萬全を期して居る。前日から潮の状態を調査して出發時間を定め、監督者の配置、救急材料、旗、メガホン、救助竿等の用意、船の準備等する。船は統監船連聯船、救護船、潮見案内船、附添船など三十餘隻で朝風に標識旗をなびかせて進む様は壯觀である。

牛臥口野間六軒航路の最近四年間統計は次の如くである。

	参加者数	成功者数	成功率 (百分比)	所要時間 平均
男	三五二	三三九	九六	二時間二十分
女	三五三	三四六	九八	三時間
計	七〇五	六八五	九七	

これで見ると女子の方が速力は遅いが成功率は男子より好成績を得て居る。

昭和十四年度静浦小學校競泳部

— その練習と戦績 —

静浦小學校訓導 中村哲夫

我校競泳部は昭和十四年度中非常な好成績を得、日本水上競技聯盟の「小學校兒童水泳十優」による水泳日本水上競技會に於て高等科男子、尋常科男子共に、全國最優校として「トロフィー」を授與された。然し此の結果を得るには幾多の苦心を伴ひ、吾々も兒童も共に苦しい涙の練習をした。「榮冠涙あり」を現實に體驗したのである。しかも一人の病人も出さず、皆満足な健康状態を以つて此の水泳期節を終つた事は吾々の最も喜ぶ所である。茲にその練習と戦跡を概括して記述して世の参考とし度い。

一、練習第一期海岸に於ける練習

裏山の緑が増してまた四月中旬から學校前の布島附近海岸で練習を開始した。部員は五年生以上三十名、此の頃は未だ袷衣を着て居る時節なので海水も未だ寒いから、此の頃は泳法指導より水に馴らす程度の練習をした。雨の日も風の日も殆んど一日も休まないで、石を紫色にして泳いだ、此の苦行に耐へ切れず下級生など逃げ歸る者さへあつたが、さすが

に上級生は學校の名譽を双肩に荷なうと言ふ信念から、部員の心が緩むと互に自省し勵まし合ひ、下級生を連れて來たりした。吾々も水褌一つで共に泳ぎ身を以て範を示した。水が温たると共に練習量を増加し漸次泳型を指導して行つた。焚火にあたり乍らの練習も段々調子が出て來た。此の時季の練習は身體に頑張りが出て、後日非常に爲めになつたと思つて居る。

二、練習第二期プールに於ける練習

六月から一里餘の距離を沼中プールへ練習に通つた。此處では先づ第一期練習に於ける缺點の矯正に銳意力を注いだ。即ち海の泳ぎは浪の爲め「ローリング」が多く、それに浪を避ける爲めに腕を高く舉げる爲めそれが倍加されるので、獨特の海の「クロール」が生れるのである。

初め、鹽水から淡水に來た爲め水が重くなり、それに強度の正規練習によつて疲労の度が強く調子が出なかつたが、二日三日とたつ中に海で鍛へた實力が現はれて時々時計はその進歩を證明した。此の時季の練習量は概ね毎日左の通りである。

- | | |
|-------------|-----|
| 1、ウォーミングアップ | 五十米 |
| 2、計時 | 隨時 |
| 3、ピーチング | 二百米 |
| 4、ロング | 一千米 |
| 5、ダツシュ | 五回 |

三、戦績の一

◆沼津中學主催競泳大會

七月二日。沼中プール初陣で少し固くなつたが、強敵宇佐美校との争覇に尋常科は他を離して九十九點高等科は八十九點で共に優勝し、西郷侯爵閣下の優勝旗をかついで歸校した。

當日我校が作つた新記録は七種目、對記録一種目で下記の通りであつた。

尋男	五十米自由形	山田務	三六秒(大會新記録)
	百米自由形	山田務	一分一九秒八(同)
	二百米平泳	小池哲夫	三分二十九秒(同)
	三百米メドレー		(同)
高男	五十米脊泳	川口清	三十七秒六(大會新記録)
	百米脊泳	川口清	一分二十三秒八(同)
	二百米リレー		二分十三秒(同)
	二百米平泳	鈴木實	三分十九秒六(大會對記録)

◆帝大主催第二回戸田大會

七月十六日鹽水プール。得點九十六點優勝盃獲得試合を重ねるに従ひ、選手度胸もつきスタートについても平氣になつて來た。

◆靜游主催第十五回大會小學校記録會

七月二十三日沼中プール。當日皆調子よく、NSRの「ベストテン」に「ランキング」された澤山の好記録を作つた。

四、練習第三期縣下大會練習

最後の目標である縣下大會に備へる爲め沼中プールで猛練習を開始した。學校も休暇になつたので都合よく續行する事が出來た。此時の練習は五十米ウォーミングアップがすむと、各自の定められた目標タイムに頑張らせる。思ふ様なタイムが出なければ出る迄やつた。次にピーチング四百。板を以て競争的にやる。初め苦しかつたが段々馴れて樂になつた次に各自のフォームに注意してロング千米、最後に二十五米ダツシュ五回。

こんな練習を八月十五日頃迄續け大會一週間前になると思ひ切つて練習量を落して水に浸る程度とし練習による疲労の回復を圖つた。

五、戦績の二

◆縣體協主催縣下大會

八月十九日靜岡市大濱プール。尋常科高等科共男

子は全部豫選をパスした。當日の結果

尋男	五〇米自由形	山田 務	一着	三三秒八
	百米	同	山田 務	二着 一分一五秒八
	同	竹中 孝	三着	
	五〇米脊泳	長澤敏夫	二着	
	五〇米平泳	小池哲夫	一着	
	二百米リレー		二着	
高男	百米自由形	久保田成美	二着	一分八秒六
	百米脊泳	川口 清	一着	
	二百米平泳	笹原武司	二着	
	二百米リレー		一着	

◆靜游主催學童大會

八月六日國民皆泳全國學童水泳大會と共に沼中プールに開催された。此の日附近小學校多數出場したが好記録を残して優勝した。

◆川奈プール開き大會

八月二十七日伊豆東海岸の強豪に伍して西海岸を代表招待され、畏くも東久邇宮殿下台臨の御前に白衣の勇士多數觀覽に感激し乍ら、リレー四種目の中三種目に優勝した事は忘れ得ぬ印象であつた。

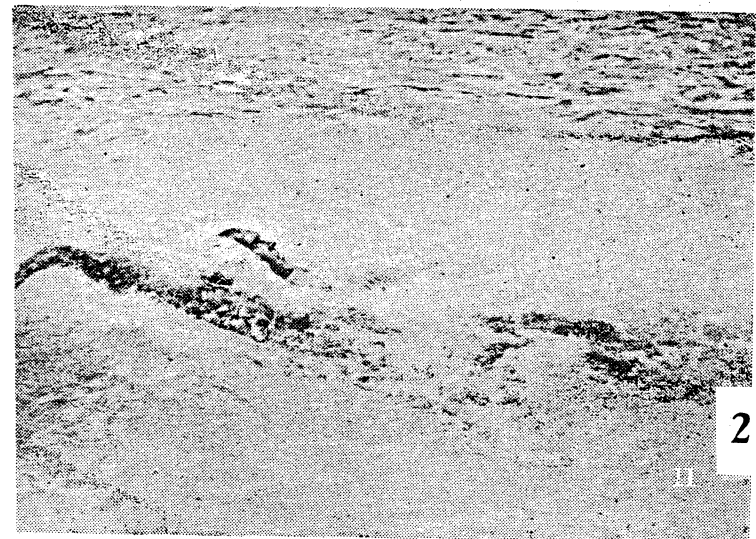
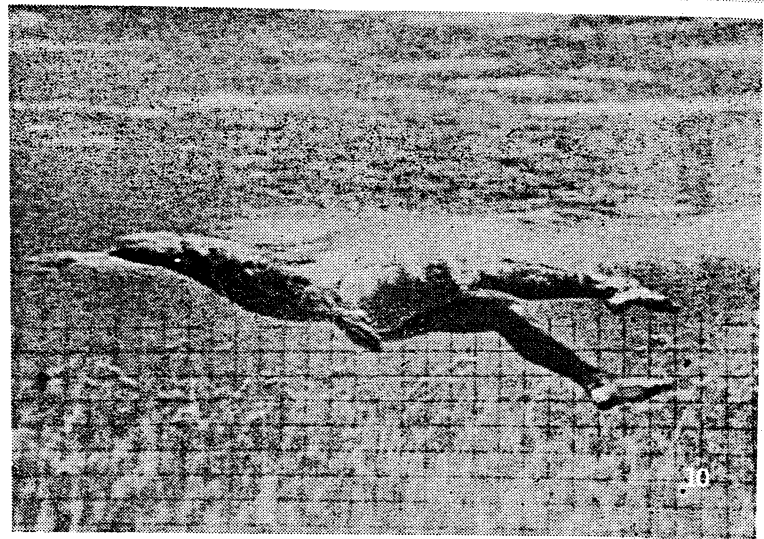
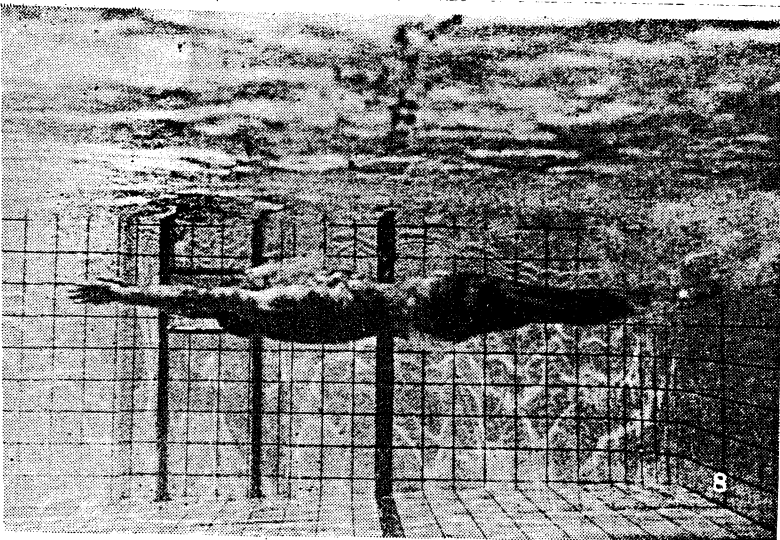
最後に我部員一同は「練習に泣いて試合に負けても泣くな」の指導精神を忘れなかつた事を付言して置く。(昭和十五年三月稿)



「羊笑ひ出す」物資不足で本年度の水泳衣が頭痛の種となつて來た或夜の理事会、絹の専門家、絹代用品の専門家等各方面の専門家が揃つて居る事として議論が色々出て絹を使つたらよからうとの事、すると絹代用品の専門家が、今の絹製品は多くは實は紙だから水泳衣などにし

たら大變だと主張する。すると科學者理事眞顔となつて、その檢別法は極めて簡單だ動物試験で容易く出来る、と云ふ。どうするのかと云へば、羊を連れて來るのだ、羊がへへツと笑つたら紙だ。

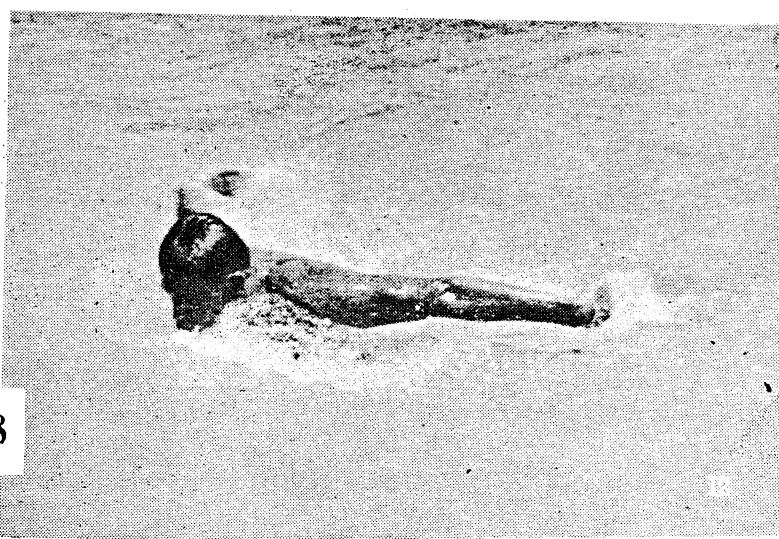
「闇は苦手」末弘會長、早春の一夜銀座附近で夜晩くなり、御自分の自動車のない時だつたので圓タクを捜された所、あらう筈がなく、翌朝來客の約束があつて泊ることも出來ず、マ、よと電車で行ける丈け行つて經堂まで着いたのが深夜の一時、これ以上行き方がなくて、お宅まで残り三軒、何をツと許り勇躍電車線路を歩き始められた、夜道の電車線路は容易く見えて容易くない。枕木と枕木との間隔は歩幅より廣すぎたり狭すぎたり、尤も先生には皆廣すぎたかも知れんが、それは聞かなかつた、其上到る所に溝があり、それが亦溝だか溝でないのか見分けがつかず、落込んだり散々の御難であつたとの事。

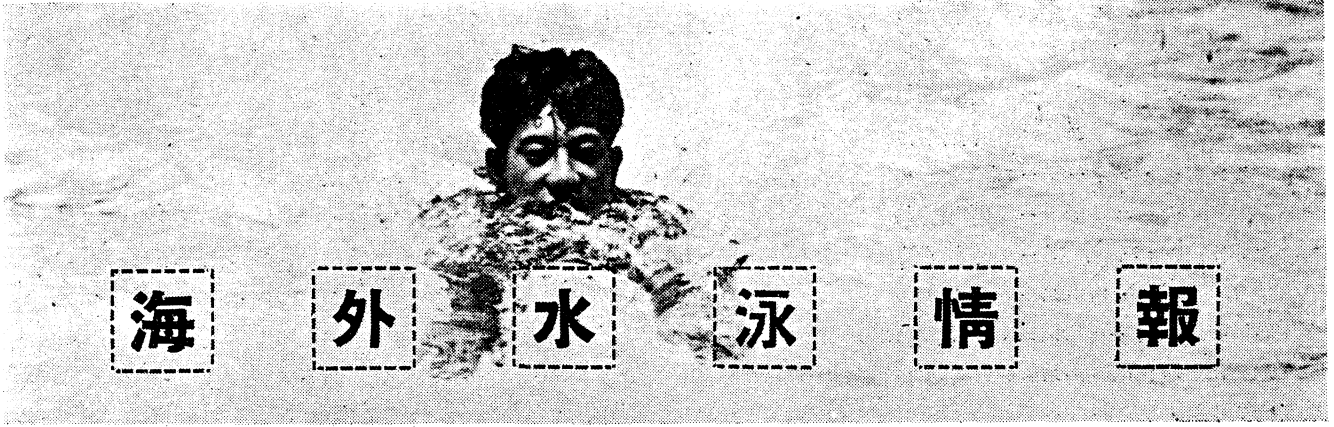


☆ 泳ぎのさまざま ☆

- 7. 今春以来 880 碼に 11 分 4 秒 1,000 碼に 12 分 34 秒 5 亦百米背泳に 1 分 04 秒 8 (短水路)を然も長水路に於て 1 分 04 秒 7 と自巳の持つ世界記録を更新したアドルフ・キープアーのスタート
- 8. キープアーの水中ターン、蹴りを終つてストロークへ
- 9. 10. バックストロークを水中正面及び側面から見る
- 11. スピードの頂上を行くアドルフ・キープアー
- 12. フィギンスのバタフライ泳法を此所に見る

目次に戻る





海 外 水 泳 情 報

小山賢之助譯述

〇AAUの日布交歓水泳大會拒否の理由

今夏日本及び布哇の水泳愛好者の切なる希望に基いて計畫せられたりし日布交歓水泳大會がAAU及び米國國務省の拒否に依つて中止となつた事は、新聞紙上其他に於て既に報道せられた所であるが、最近、AAU水泳部委員長、ローレンス・ジョンソン氏から右拒否の理由として左の如き書簡が水上聯盟田畑理事長宛到着した。曰く「日布交歓水泳大會については、先に打電申上候通り國務省の許可を得るに至らず、小生個人としては日本チームを布哇に迎へ、或ひは日本の第二世布哇米人を日本に派遣し度き情切なるものあるにも拘らず、AAU水泳委員長として公式に右の企圖を實現し得ざりしは余の最も遺憾とする所に有之候、我がAAUに在りては、凡ての國に對して公平ならん事を、努力致居候ものにて、完全なる平和を保ち居らざる國とは試合を爲さざる事により世界の凡ての國に對する友好關係を維持せんと欲するものに有之候。

此機會を通じ將來日本の水泳チームを米國に迎へ日米對抗の競技會を開催するの日の一日も速かならん事を希望致居候 敬具」

〇FINA 通信オリンピックを計畫す

國際水泳聯盟 (FINA) 理事會に於ては第十二回オリンピック大會解消に伴ひ今年七月廿五日よりヘルシンキに於て開催の豫定なりしFINAの總會を中止する旨聲明した。

然して右聲明と同時にFINA名譽主事レオン・ドナート氏は加盟各團體に對し「一九四〇年に於ける斯道の發展状態を知る必要上、各國の本年度男子女子オリンピック種目に於ける最優三位迄の記録をFINA宛送付され度し」と要請した。同氏は各國より集り來れる報告を基礎として本年度世界十傑表を作成せんとするものであつて、同氏年來の主張は「毎年の世界三傑、若しくは前回のオリンピックの優勝記録を凌駕する成績を挙げたるものに對しては、FINAに於て何らかの表彰方法を講ずべし」といふに在つた。されば恐らく同氏の企圖する所はオリンピック大會に

代るに此の各國三傑表を集成して紙上オリンピックの如きものを行ふのではないかと考へられる。

〇FINA 編纂一九三九年度歐洲水泳五傑表

FINAでは一九三九年度歐洲水球五傑を發表した。各ポジションの一位より五位を54321の順で得點を計算すると、ハンガリーが二十五點で依然として水球王國を誇り次いで獨二十三、白十九、伊十八、佛十一、蘭九の順となる。

△ゴールキーパー

- 1 マー ツ アイ (洪牙利)
2 ヴェニンガー (獨逸)
3 デ ス メ (白耳義)
4 パラ ッ ツ オ (伊太利)
5 デルポルト (佛蘭西)

△レフト・バック

- 1 グンスト (獨逸)
2 ハ ッ アイ (洪牙利)
3 ブリ ッ ツ (白耳義)
4 フリベール (伊太利)
5 レフベル (佛蘭西)

△ライト・バック

- 1 パドゥ (佛蘭西)
2 シャルカニ (洪牙利)
3 バイカー (獨逸)
4 シュテレン (白耳義)
5 シュタム (和 蘭)

△フルバック

- 1 イセレ (白耳義)
2 ビルデイオ (伊太利)
3 デン・ハメル (和 蘭)
4 デイネー (佛蘭西)
5 ボ ッ シ (洪牙利)

△レフト・フオーワード

- 1 ブラシデイ (洪牙利)

- 2 シュルツェ (獨逸)
- 3 ラヴリオ (伊太利)
- 4 マイヤ (和蘭)
- 5 ブツシユ (佛蘭西)

△センター・フォーワーズ

- 1 オニオ (伊太利)
- 2 シュナイダー (獨逸)
- 3 バン・エルスト (和蘭)
- 4 ユピーテルス (白耳義)
- 5 バン・ド・カステレ (佛蘭西)

△ライト・フォーワーズ

- 1 ネメツ (洪牙利)
- 2 デ・パウソン (白耳義)
- 3 キーンツレ (獨逸)
- 4 ブラディック (伊太利)
- 5 キスレギ (洪牙利)

○ラングヒルド・ベーカ
五百米の世界記録を奪還す

本年一月白耳義のフェルナンデ・カロエン嬢が五百米に六分二十八秒四の世界記録を出して、ベーガー嬢の全種目制覇のライバルとして名乗り出た事は前號の本欄所報の通りであるが、二月コペンハーゲンに於て、ベーガー嬢此種目奪還を目指して、男子自由形選手シルダー及び女流選手ベートルセンをペースメーカーとして力泳又力泳遂に六分二十七秒四の世界新記録を出して王座を見事に奪還した。

先づ百米に於てはペースメーカーシルダーよくベーガーを誘導し、タッチの差で之をリードす。

タイム、一分十一秒二、カロエン嬢のラップタイムに劣る事〇秒一、陸上の應援團必死となつてカロエンのタイムの優秀なる事を告げれば、ベーガー力泳、二百米に於ては二分二十九秒五を示してカロエンに先んずる事〇秒五、之に調子づいたベーガー嬢は、シルダーと舷々相摩する接戦を演じつゝ三百米を三分四十九秒四でターンし、カロエンのラップを凌ぐ事正に一秒五、ペースメーカーシルダー三百で遂に棄權したが、ベーガー益々好調に力泳を續け四百米に於て五分九秒八、カロエンを一秒二リードし、遂に五百米に六分二十七秒四の記録を得て、ベーガー嬢美事、五百米自由形の世界記録を奪還した。

○エール大學二繼泳に世界新記録を作る

日本にお馴染みのロバート・キツフスをコーチとするエール大學は本年室内シーズン初頭頗る好調で二月初旬ホームプール(二十五碼)に於ける競技會に於て四百碼繼泳に三分三十秒七の世界新記録を出し久方振りにキツフス快心の腕を見せ、世界水泳界を感嘆せしめたが、三月初旬又もや四百碼繼泳に三分五十四秒四の世界新記録を物にしてエール強しの聲を全米に轟かせた。

右の中四百碼繼泳のラップタイムは次の通りである。

- | | |
|------------|------|
| リチャード・ケリー | 53.2 |
| エドワード・ポウブ | 52.4 |
| ラッセル・ダンカン | 53.2 |
| ハワード・ジョンソン | 51.9 |

四百碼繼泳のメンバーはウイリス・サンバーン。エドワード・ポウブ。ラッセル・ダンカン。及びハワード・ジョンソンの四名であつてラップタイムは不明である。

○全米室内インターカレッジ

第十七回全米室内學生水上選手權大會はエール大學主管ロバートキツフス役員長の下に三月廿九・三十兩日ニューヘイブンのエール大學ペインウイットニイ體育場プールに於て行はれた。エール大學は世界記録を物せる餘勢を驅つてホームプールの有利なる條件の下に一舉優勝を目指したが、マツトマンをコーチとするミシガン大學は、バーカー、シエアメット兄弟、を主陣として奮闘し、此の間飛込及び平泳に有利なオハイオ州立大學が入り亂れて壯烈なる三巴戦を展開した。第一日の得點はエールミシガン共に23點の接戦を演じ、オハイオ21點で之に續いた、かくて三者一進一退最後の四百碼繼泳に於て優勝が決せらるることとなつた。一番ミシガンのGシエアメット・エールのダンカンに腕一つ先んじて二番に引續けば、エールのケリー力泳して、ミシガンのジリスを抜き約一米の差をつけて三番に渡す、ミシガンの三番ハッチンス51.8の好ラップでエールのポウブを追ひタッチの差迄漕ぎつけるや、ミシガンのラスト、バーカー必死の奮泳物凄くエールのジョンソンを約一米抜き去つて遂にミシガンに凱歌が上つた。バーカーのラップタイムは51.0でフライングスタートに利したとはいふもののワイズミューラーの世界記録とタイする好記録である。

得點ミシガン 45 エール 42 オハイオ 39
優秀記録を摘記すれば次の如くである。

五十碼自由形

- 1 ガイ・ラムスパン(ウエイン大學) 23.1
- 2 フランク・スコフィールド(海軍大學) 23.2
- 3 チャールズ・バーカー(ミシガン大學) 23.3

百碼自由形

- 1 グスマン・シエアメット(ミシガン大學) 51.8
- 2 ポール・ウォルフ(南加大學) 52.3
- 3 ハワード・ジョンソン(エール) 52.4

二百二十自由形

- 1 ハワード・ジョンソン(エール) 2:13.1
- 2 アンドリュウ・クラーク(ウエイン) 2:13.5
- 3 エリック・カトラー(ハーバード) 2:13.6

四百四十碼自由形

- 1 アンドリュウ・クラーク(ウエイン大) 4:50.0
- 2 ルネ・シュトオ(エール) 4:51.0

千五百米自由形

1 ハロルド・スタンホープ(オハイオ) 20:15.8

百五十碼背泳

1 ザアンデ・ウエー(プリンストン) 1:34.6

二百碼平泳

1 ジオン・ヒギンス(オハイオ) 2:23.7

三百碼混繼泳

1 ミシガン大學(ハイト・Gシエアメット、Jシエアメット) 2:54.3

四百碼繼泳

1 ミシガン大學 3:31.0 世界對記録
2 エール大學 3:31.9

三米飛板飛込

1 アール・クラーク(オハイオ) 166.82
2 アル・バトニック(オハイオ) 165.76

一米飛板飛込

1 アル・バトニック(オハイオ) 147.04
2 アール・クラーク(オハイオ) 140.50

○全米室内選手権水上競技大會

次いで四月五、六兩日、紐育體育俱樂部プールに於て一九四〇年度全米室内選手権大會が舉行せられた。インターカレッジの優勝校ミシガン大學とキーフアー・ジャレットを有する市俄古タワー俱樂部及びオハイオ大學の三者の間に壯烈な三巴戦が演ぜられたが28點を以つてミシガン又もや優勝し、一シーズ中にインターカレッジと一般室内との二大競技會に優勝すると言ふ米國水泳界始つて以來の快記録を作つた。さり乍ら記録はインタカレッジの直後とて低調であつた事は否み難い。

百碼自由形

1 オット・ジャレット(タワー俱) 52.3

二百二十碼自由形

1 トーマス・ヘニイ(デットロイト AC) 2:13.4
2 オット・ジャレット(タワー俱) 2:13.6

四百四十碼自由形

1 ヘニイ(デットロイト AC) 4:50.7

百五十碼背泳

1 アドルフ・キーフアー(タワー俱) 1:33.3

二百二十碼平泳

1 リチャード・ハフ(プリンストン大) 2:40.8
2 ジオン・ヒギンス(オハイオ大) 2:42.0

三百碼個人メドレー

1 キーフアー(タワー俱) 3:29.6

三米飛板飛込

1 アル・バトニック(オハイオ大) 171.84
2 アール・クラーク(オハイオ大) 160.00

一米飛板飛込

1 アル・バトニック(オハイオ大) 143.88
2 アール・クラーク(オハイオ大) 126.78

三百碼混繼泳

1 プリンストン(ウエー・ハフ・パーク) 2:54.6

四百碼繼泳

1 ミシガン大學 3:35.2

○獨逸室内シーズン三傑表

獨軍の白蘭作戰將に開始されんとする五月八日、獨逸冬季シーズンの總決算ともいふべき戦時冬季室内シーズン三傑表が發表せられた。獨逸があれ程の大規模作戰を行ひ乍らスポーツに對する努力を忽せにせず悠々たる大國民の襟度を示しつつある事は敬服の他はないが、純水泳的に見る時、低調の譏りを免れ得ないのは蓋し已むを得まい。

百米自由形(水路は何れも二十五米)

1 ヒ ッ チ ガ ー 60.2
2 フ イ ツ シ ア ー 60.4
2 シ ュ レ ー ダ ー 60.4

二百米自由形

1 ブ ラ ー ト 2:14.4
2 ラ ス コ フ ス キ ー 2:14.8
3 シ ュ レ ー ダ ー 2:14.9

四百米自由形

1 ブ ラ ー ト 4:50.5
2 ラ ス コ フ ス キ ー 4:56.5
3 ケ ー ニ ン ガ ー 4:59.7

二百米平泳

1 バ ル ケ 2:39.9
2 ハ イ ナ 2:41.2
3 ケ ー ネ 2:44.6

百米背泳

1 シ ュ レ ー ダ ー 1:09.3
2 ク ツ ベ ル ス 1:11.0
2 ニ ュ ス ケ 1:11.0
2 ホ ツ ツ 1:11.0
2 シ ュ ラ ウ フ 1:11.0

女子百米自由形

1 ボ ラ ッ ク 1:10.0
2 ウ エ ー バ ー 1:10.8
3 カ ー ナ ッ ツ 1:11.6

女子四百米自由形

1 ラ ン ナ ウ 5:50.2
2 バ ッ ハ マ イ ヤ ー 5:53.8
3 シ ュ ー マ ン 5:54.8

同 二百米平泳

1 カ ベ ル 2:59.9 獨逸新記録
2 グ ラ ウ ト ホ フ 3:03.5
3 ビ ハ イ ダ 3:06.3

同 百米背泳

1 ウ エ ー バ ー 1:17.1 獨逸新記録

2 ケラーマン 1:20.9

3 ボラツク 1:21.4

○本年度前半期世界競泳六傑表

FINAに於ては本年度世界競泳三傑の表彰を企圖して居るが、左の規準に従つて本年度半期世界男子六傑、女子三傑表を編纂した。

- 一、淡水五十米コースを規準とす
- 二、折返し一つ増す毎に一秒を加算す
- 三、同一記録の上下位は、記録を産出したる競技會の重要度、各人の二位の記録を參考として決定した。又換算に依つて得たる記録は換算を爲さざる記録より下位とする。

▲男子 百米自由形

- 1 遊佐 正憲 (日本) 58.4
- 2 グスマン・シエアメット (米國) 59.4
- 3 ポール・ウォルフ (米國) 59.4
- 4 新井 茂雄 (日本) 59.6
- 5 アウグスト・ケレシー (洪牙利) 59.7
- 6 佐々木 猛 (日本) 59.8

二百米自由形

- 1 新井 茂雄 (日本) 2:14.8
- 2 遊佐 正憲 (日本) 2:16.0
- 3 ウィリアム・ケンドール (濠洲) 2:16.3
- 4 ハワード・ジョンソン (米國) 2:16.3
- 5 宮本 茂 (日本) 2:16.8
- 6 フェルディナンド・タスト (洪牙利) 2:16.8

四百米自由形

- 1 仲間 清 (布哇) 4:53.4
- 2 本間 俊夫 (日本) 4:54.0
- 3 宮本 茂 (日本) 4:54.2
- 4 津田 國男 (日本) 4:54.2
- 5 ポール・ヘロン (米國) 4:55.4
- 6 ウェルナー・ブラート (獨逸) 4:57.5

千五百米自由形

- 1 本間 俊夫 (日本) 19:41.8
- 2 津田 國男 (日本) 19:52.0
- 3 宇田 守榮 (日本) 20:08.6
- 4 田中 英作 (日本) 20:15.6
- 5 片山 崇 (日本) 20:17.6
- 6 天野 富勝 (日本) 20:20.0

百米平泳

- 1 葉室 鐵夫 (日本) 2:43.0
- 2 ヨアヒム・バルケ (獨逸) 2:43.9
- 3 リチャード・ハフ (米國) 2:45.1
- 4 アルツール・ハイナ (獨逸) 2:45.2
- 5 大浦誠一郎 (日本) 2:46.2
- 6 ジョン・ヒギンズ (米國) 2:46.3

百米背泳

- 1 アドルフ・キーフアー (米國) 1:06.4
- 2 吉田 喜一 (日本) 1:08.8
- 3 兒島 泰彦 (日本) 1:08.8
- 4 アルバート・バンバツエー (米國) 1:08.8
- 5 谷口 利弘 (日本) 1:09.8
- 6 パーシー・オリバー (濠洲) 1:09.8

▲女子 百米自由形

- 1 ラングヒルト・ベーター (丁抹) 1:09.6
- 2 グンフォール・クラフト (丁抹) 1:10.0
- 3 ハリーナ・トムスカ (米國) 1:10.1

四百米自由形

- 1 ラングヒルト・ベーター (丁抹) 5:16.8
- 2 フェルナンデ・カロエン (白耳義) 5:18.0
- 3 リイ・バン・バイン (和蘭) 5:32.0

二百米平泳

- 1 イボンヌ・バン・デ・ケルヒホベ (白耳義) 3:02.8
- 2 ヨビー・ワールベルグ (和蘭) 3:03.4
- 3 トニー・バイランド (和蘭) 3:03.8

百米背泳

- 1 グエン・ミラード (濠洲) 1:17.6
- 2 ビルテ・オベベテルセン (丁抹) 1:18.5
- 3 ヘレン・ペリー (米國) 1:18.8

概評 今次歐洲大戰の激化は其渦中に捲き込まれたる諸國の水泳界を殆んど壊滅せしめんとしてゐる。又非交戰國と雖もオリムピック解消の爲に精進の目標を失ひ記録的には低調たるを免れなかつた。此の間我が遊佐葉室兩選手がブラジルに遠征して非常なる好記録を獲たるはスランプに喘ぐ水泳界に一服の清涼劑を投じたるものとして痛快此上もなき事であつた。

支那事變といふ未曾有の大戦を遂行しつつある日本が各種目に相當の活躍を示して居るのは心強い。

又獨逸が全歐洲を席卷する大作戦を强行しつつあるにも拘らず、水泳を忽にせず、今後の活躍を期待されるのは頼母しい。布哇に於ては六月十九、二十日行はれたる選手権大會に於て、仲間廣瀬健在なるを示したのは注目値する。英帝國自治領選手権大會にケンドール等の濠洲選手が好記録を獲てゐるのも興味深い。

米國に於ては本年度後半期の初頭七月四日サンタバーバラに於ける室外選手権大會に於て二百米自由形百米背泳に前記記録を凌駕する優秀記録を産出して居るから日本に於ても現在の調子では王座危しと迄は行かなくても茲あたりで一撃を加へて置く必要がありはしないかと考へる。

女子に於ては丁抹和蘭白耳義等の女子競泳の中心地が戰禍に捲き込まれ、室内シーズンも約二ヶ月にしてプール閉鎖の止むなきに至れる爲男子に比して一段と低調なりしは當然乍ら遺憾此上もなき事であつた。

速 泳 (ハヤオヨギ) クロール日本名決定

懸賞募集結果発表 白山源三郎

嘗て懸賞募集中のクロール日本名は応募者意外に多く非常な盛況裡に表題の如く速泳(必ずハヤオヨギと読むこと)に決定した今其経過を報告する。

一、クロール日本名募集

クロールは今では日本語同様に用ひられては居るが、平泳(ヒラオヨギ)、背泳(セオヨギ)と並んだ時に何となく不揃ひの觀もあり、既に日本獨特の泳となつて居るから日本名があつた方がよいとの聲もあり終に日本水上競技聯盟に於て日本名を撰ぶこととなり、先づ名案を募集した所次の十八が応募された

- | | |
|---------------------|--------|
| 1. 快 泳(カイエイ) | 河内 榮一 |
| 2. 皆 泳(カイエイ) | 伊藤 幸雄 |
| 3. 肩 拔手(カタヌキテ) | 同 |
| 4. 肩 泳(ケンエイ) | 同 |
| 5. 肩 泳(カタオヨギ) | 同 |
| 6. 驅浪泳(クロールオヨギ) | 渡邊 延 |
| 7. 秀 泳(シウエイ) | 南里富 瑳子 |
| 8. 速 泳(ソクエイ) | 南里 一 亮 |
| 同 上(同 上) | 河内 榮一 |
| 9. 直 泳(チヨクエイ) | 同 |
| 10. 速 泳(ハヤオヨギ) | 白山源三郎 |
| 同 (同) | 渡邊 延 |
| 11. 匍 拔手(ハイヌキテ) | 喜多山 省三 |
| 12. 匍 泳(ホエイ) | 同 |
| 13. 匍 泳(ハイオヨギ) | 同 |
| 14. 龍 泳(リウウエイ) | 南里富 瑳子 |
| 15. 速 搔(ハヤガキ) | 松澤 一 鶴 |
| 16. 拔 手(ヌキテ) | 白山源三郎 |
| 17. 早 拔手(ハヤヌキテ) | 同 |
| 18. バタ足 拔手(バタアシヌキテ) | 末弘 嚴太郎 |

右の内より理事會に於て審議の結果候補名四つを定め之に修正の上得たるもの一つ加へ五名とし、之に對し再び懸賞一般投票を行つた。

- | |
|---------------|
| 1. 速 泳(ハヤオヨギ) |
| 2. 速 搔(ハヤガキ) |

3. 拔 手(ヌキテ)

3. 速 拔 手(ハヤヌキテ)

5. バタ足 拔手(バタアシヌキテ)

昭和十五年四月十四日締切までに応募された數は次の通り。

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. 速 泳(ハヤオヨギ) | 二九四 |
| 2. 速 拔 手(ハヤヌキテ) | 一七三 |
| 3. 拔 手(ヌキテ) | 九四 |
| 4. 早 搔(ハヤガキ) | 四一 |
| 5. バタ足 拔手(バタアシヌキテ) | 三一 |
| 其他を投票したるもの(無數) | 二三 |
| 計 | 六五六 |

右の結果速泳(ハヤオヨギ)と決定した。就ては五月十四日理事會に於て嚴正な抽籤の結果左の五氏に懸賞としての水上競技會本年度指定席券各一枚宛の授賞を決定直ちに書留郵便で發送した。

大阪市北區梅田町十四 佐々木一雄(返送さる)
 東京市大森調布嶺町一三〇九 高尾 勇
 福岡縣戸畑市澤見區小芝町四丁目一五五七

井門 基憲
 徳島市佐古町大谷二丁目 増谷 安吉
 戸畑市中原三六一ノ六 高塚 春雄
 猶、候補名に當籤した左の四氏に對しても賞品として同様指定席券各一枚を贈呈する。

末弘 嚴太郎 松澤 一 鶴
 渡邊 延 白山源三郎

懸賞問題の周邊

横尾 清 吾

遺書を書かされて複雑な氣持である、その原因であるダグラスの椿號は快晴の瀬戸内海上を快翔してゐる、海上を走る機影は力強いまつしぐらの印象で氣持いいクツシヨンのバウンドにごく最近の出來事

が思出されて来る、三月十三日の常務理事會で白山さんは投票されたクロールの日本語譯の數々を披露したが、その時の甲論乙駁の有様を傳へ度い。

先づ篩にかゝつたのが「速泳」で之をソクエイとするかハヤオヨギとするかに關しては平背泳に従つて後者がよからうと一決、保谷さんは始から之だと決めてみたのでニコニコと聞入つてみた。支那では何と云ふのかとの間に對して松澤さん即下に答へて戰捷の捷の字をとつて捷泳と謂ふんだよと博識の一端を示される、側から田畑さん匍ふ泳ぎと書いて匍泳とも云ふよと一同を感心させる。

次に「ハヤ搔き」は如何だらうかと云ふ事になつたが支字の現す動的感覺に申分はないがクロールの搔き方より犬搔きが更に速搔きじやないかねとの田畑さんの一言で影がうすくなる。

「クロール泳ぎ」もクロールが日本語化された現在に於て申分ない邦譯であらうがそれでは山手線みたいにぐるぐるレールには乗つても中心を衝かない嫌ひがあるので割愛、外に秀泳、直泳、龍泳、自由形などよく考へると夫々の主張、價值はあるが内容に對する形式の抽象度が例へば少女歌劇を以て藝術なりと主張するに似て無意味に近い。

「バタ足拔手」はクロールの合理性の模範的集約の故に問題になつたが簡潔明快さを缺く事本炭自動車の尻の如く更に其上に亦スピード感がない。結局速泳、ハヤ搔き拔手、速拔手、バタ足拔手等が選擇されたがこれらの中からクロールの邦譯が更に一般投票によつて選ばれるのである。かくて自由形がクロールかクロールが自由形かと全く日本語化された(海軍ではクロールと呼稱してゐる)クロールも大成された日本に於て日本語譯が興へられるのである、遲きに失した憾もあるし又遅すぎる感もする、ましてなくもかなの感も深い日本語譯が決定したからとてクロールの泳ぎ方が平泳、背泳の様に嚴格に規定されるわけのものではなくクロールは今の所一番速い泳ぎだから自由形では皆クロールで泳ぐのである、その點皆誤解なきを期し度い。

次に決定投票の件につき新聞で廣告して貰ふ事になつたが四月一日は如何だらうかとの意見に對し渡邊(貫)さんが「じやうだん云つちや困るよエプリルフルで本氣にされないぞ」とは炯眼、それなら暖くなつて水の感じも水泳を聯想さす頃は如何だらうか」と聯盟一の詩人大橋さんが感情もこまやかに

成程と誘ひこまれたが六月九日の早慶戦迄に年鑑を出さねばならぬから間に合はぬので結局四月二日に廣告して貰つて二週間に亘つて募集する事になつたそれなら褒美は如何しやうと云ふ事になり「とにかく今迄應募投票してくれた人は余程の水泳ファンに違ひない、こんな熱心な人々は水上聯盟の寶であり財産であるから今年の入場券を差上げる事にしたら如何」と學聯の新名譽主事奥野良さんの花も實もある提案に一同異議なく賛成……

☆「日本男子」よりの投書——四月三日付

クロールが気に入らぬなら馬鹿泳ぎとでもしたらわかりよくていいだらう、何處の誰からの命令でそんなつまらない事を云ひ出してゐるのか知らないが「譯語を募つて選び出した人に賞品をやる」馬鹿げた事はおよしなさい、そんな事でどれだけの効果があるんだ英國が地團駄ふんでくやしがるとても云ふのだらうか馬鹿げた事は止し給へ。

大日本帝國はそんな意氣地のない國では斷じてない。世界中の國々を向ふに廻しても東亞の大業を完成する迄は何處迄も戦ふんだぞと叫んでゐるのだ、太つ腹なのだ。英國が嫌ひならうつちやつてをけ、チエンバレンの云ふ事に聞耳たてる今日の日本じやない(以下略原文のまゝ)朝鮮全羅南道光州安永春美氏よりの手紙が參りました。

☆白山さん困りの巻

メ切日がすんだ次の理事會で邦譯の決定と當選者の決定があつたが、上述した候補名五つの中速泳と拔手、早拔手の三つ迄入選した白山さんいさゝか得意で懸賞問題では何うも運が強いからな〜とほのめかすと周圍から「白山さんそれはプロだ、聯盟の人が褒美貰ふのは斯道獎勵にならん、闇取引だ」との羨望的な野次が飛び出したので白山さんは困つて相手にせず突放して了つた。

☆白山さんに對する辯解

白山さんも大變困つて居られたがとにかく得意である、十八の中三つ迄入選してゐるのだから、話に聞くと白山さんは考案と云ふか名前を考へる事に關しては全く天才的であるとか、學校の徽章である關東學院の帽章も白山さんの考案であり外學生會館の設計も、又同窓會館の名稱も白山さんのが採用され當選した由、そこで我々はいさぎよく白山さんに兜を抜ぐ事にした。

以上。

× × ×

聯 盟 關 係 者 通 信



拜復

御手紙並びに議事録有難く拜見致しました。當方こそ御無沙汰の限りを盡し全く申しわけなく思つて居ります。大兄は軍隊の大先輩故よく御承知と存じますが、何しろ一期の檢閲が終了する迄は殆んど暇が作れず氣になりつゝも筆を取り上げ得なかつた次第、不惡御了承下さい。

新聞に目を通す事が少いのでシーズン開幕にも關らず何がどうなつて居るのやら譯が解らずに居る様な有様です。先日一寸水球リーグが始まつた記事を見、坐ろに神宮プールを懐しみました。明日から六月に入り水のシーズンも愈々本格的となり活況を呈する事でせう。大兄等御奔走の布哇遠征並びに二世名選手招聘は最後の土壇場で不成功に終つた様ですが、御骨折り御苦勞に存じ上げます。成功して居れば今夏は久方振りに國際色(?)豊かな好シーズンが展開され我が第一・二選手を大いに刺戟したであらうと秘かに口惜しがつてる次第です。

六月の第二週第三週には早慶、三大學のビツグイベントがあり好レース、大記録を期待して居ます。

當方今月初旬第一期檢閲を終了、東京出發に際し各位の示されたる絶大の御厚意に報ゐる爲軍務に精勵しましたので、御蔭様で同封の旬報にある通り檢閲の講評に際し聯隊長より賞詞を賜はりました。境遇、年齢其他の事情を考慮の上幹候志願は見合せました。良き一兵として十二分に御奉公する心組です。敬具

藤 田 明

拜啓

皆々様相變らず御元氣の事と思ひます。内地も春の酷とはなり毎日長閑な日が続いて居る事と思ひます

當滿洲にも愈々本格的の春が訪れ櫻ならぬ柳の新芽が青々と出て參りました。

國民體育向上推獎の折柄愈々御多忙の事と思つて居ります。

そろそろ水溫む候とはなり何かと御忙しい事と思ひます。

小生相變らず元氣旺盛で張り切つて居ります。北安から去年の十二月に當部隊に參りました。北安にては慶應の黒川少尉殿に種々と話を伺ひ又御馳走に

なりました。

兄も相變らずで頑張つて居りました。毎日講習に教練に或いは學科に多忙な日を送つて居ります。

先日約二週間野營演習が行はれました。演習地は砂地にて丁度ノモンハンを思はせる様な沙漠地で相當濫られました。

又その中に一ヶ月もの野營があります。此時こそ充分に射撃指揮に、實兵指揮に研究勉強して來たいと張り切つて居ります。

皆々様にも益々御體を大切に皆々様にも宜しく御傳えを 敬具 奉天にて 富田 巖 衛
拜啓 時下初夏の候と相成り皆様益々御清祥の段誠に奉賀候也陳者私儀今般滿鐵に入社致し表記に住居相構申候何卒慰問文等御送り被下度候
尙本日着任早々街にて竹内八郎氏(法政の水泳部先輩)に御會ひ致し地球の狭きを嘆き申候
先は右御報告申上候也 敬具

追信 雜誌水泳を有難ふ存じます。今後も出来る丈御送附の程願上ます。目下奉天にも水泳團體結成の氣運が有ります、いづれ亦の機會にゆづりませう。 奉天市場武街二段三五正大寮三二四號

川 田 稔

拜啓 以來御無音に打過ぎ居り申譯無之候
二日の休みを利用して東洋のパーリーとも言はれる此所ハルピンに參りました。街の好感、そして面白い所も澤山に有ります。少々つかれる程です。此街ハルピンで北大の往年の長距離の雄宮下利三さんに逢ひました。亦帝大本年度卒業の川田稔君にも會ひました。いづれ亦の機會に便りします。皆さんに宜敷しく 敬具 ハルピンにて 竹内 八 郎
前略 長らく御無音に打過ぎ誠に恐縮して居ります
相變らず皆様には御壯健にて種々御多忙の事と拜察致して居ります。小生出征以來一年半有餘戰鬥に或は警備に其任務を完了し去る二月十二日懐かしの芝浦岸壁に上陸第一步を印しました。約一ヶ月の留守隊勤務も終了し先月より會社の方に出勤致して居ります。之も一に皆様の御加護の賜物と深く感謝致して居ります。猶今後共何分宜敷御願申上げ先は右乍略儀書面を以て歸還御挨拶迄 敬具 遠藤 信男

聯 盟 日 誌

2月	1日	學聯總務委員會	朝日新聞社	事務所
	4日	學聯代表委員會	中央事務	事務所
	6日	競泳池公認委員會	事務	事務所
	7日	指導普及委員會	事務	事務所
	19日	常務理事會	事務	事務所
	21日	飛込競技委員會	事務	事務所
	22日	水球競技委員會	事務	事務所
	23日	女子部委員會	事務	事務所
		競泳池公認委員會	事務	事務所
3月	1日	水泳史研究委員會	事務	事務所
		布哇A A U並ニ日布時事社ヨリ全米大會ヲ布哇ニ開催(日本選手参加)ノ可能性アリ、努力中ノ手紙來ル。		
	6日	常務理事會	事務	事務所
		米ノキツバース氏及布哇A A U並ニ日布時事社長宛遠征ノ出來ル月、日、經費、代表選手氏名、代表選手ノ最高記録昨年度ノ記録等發信ス。		
	13日	常務理事會	事務	事務所
	15日	競泳池公認委員會	事務	事務所
	20日	米ノキツバース氏ヨリ日米對抗開催ニ盡力スル旨返信來ル。		
	30日	厚生省ヨリ體育獎勵金下附スル旨通知アリ、布哇A A U及ビ日布時事ヨリ全米大會ヲ布哇ニテ開催スル件、中間報告アリ。		
		學聯、新舊委員會總會	井上	事務所
4月	4日	理事會	事務	事務所
	5日	日米對抗競泳會ノ件ニテ電打ス。 水泳誌七十二號、石本氏追悼號全國へ發送。		
	10日	評議員會	花	月事務所
	11日	常務理事會	事務	事務所
	12日	小學聯盟常務理事會	事務	事務所
	16日	常務理事會	事務	事務所
	18日	競泳池公認委員會	事務	事務所
	19日	小學校委員會	事務	事務所
	22日	常務理事會	事務	事務所
	23日	競泳公認委員會	事務	事務所
4月	24日	國際水聯ヨリ公式世界記録表到着ス。		
	26日	神宮海洋競技打合(常務理事會)	事務	事務所
	30日	學聯水球委員會	事務	事務所
5月	1日	常務理事會	事務	事務所
	6日	水泳座談會	事務	事務所
	4日	日布時事ヨリ日米對抗見込ナシトノ電報來ル。		
	6日	指導普及委員會	事務	事務所
		學聯水球常任委員會	事務	事務所
	7日	學聯實行委員會	事務	事務所
	8日	日布時事ヨリ日本選手七名招聘決定、哇布選手六・七名遠征シタシノ電報來ル、直チニ田畑、野田、大橋其ノ他役員事務所集合、OK十名送ルノ返電ヲ打ツ。(日本選手豫選會6月22日、23日決定)		
		學聯總務委員會	朝日新聞社	事務所
	9日	學聯水球委員會	事務	事務所
	10日	飛込競技委員會	事務	事務所
	13日	水球一流選手座談會、飛込競技委員會	事務	事務所

日本水上競技
聯盟機關雜誌

水 泳

第 7 3 號

昭和十五年 七月十二日 納本
昭和十五年 七月十五日 發行

(日本水上競技聯盟代表)
編輯兼印刷人 宍 道 洋 一

印刷所 大日本印刷株式會社
牛込區市谷加賀町一の十二

定價30錢 年8回發行豫定・8回分 ¥2.40

豫約申込者に限り頒布す(1年前金豫約)
は送料不要

廣告料 10圓乃至35圓 御申込次第詳細回答

發行並 東京市麴町區丸ビル581
申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所
振替口座東京三九九一九番